

**平成27年度  
テレワーク人口実態調査  
（企業等ヒアリング調査）  
－資料編－**

平成28年3月

国土交通省都市局  
都市政策課

# 目 次

|                                   |    |
|-----------------------------------|----|
| ■ ヒアリング対象企業等の一覧.....              | 2  |
| ■ ヒアリング対象企業の特徴 .....              | 3  |
| 1. カルビー株式会社 .....                 | 5  |
| 2. 株式会社コー・ワークス .....              | 10 |
| 3. 佐賀県 .....                      | 13 |
| 4. 中外製薬株式会社 .....                 | 17 |
| 5. 日本航空株式会社 .....                 | 20 |
| 6. 日本マイクロソフト株式会社 .....            | 25 |
| 7. 株式会社Phone Appli .....          | 29 |
| 8. 明治安田生命保険相互会社 .....             | 33 |
| 9. 明豊ファシリティワークス株式会社 .....         | 38 |
| 10. 株式会社リクルートマネジメントソリューションズ ..... | 40 |

※ここに掲載した事例は、在宅勤務の取組・工夫を紹介するためのものであり、各企業等の状況に応じた取組・工夫がなされることが望まれる。

## ■ ヒアリング対象企業等の一覧

| 対象企業                        | 業種/主の業務内容                                                        | 従業員数<br>(職員数) | 在宅勤務の<br>対象人数/実施人数                       |
|-----------------------------|------------------------------------------------------------------|---------------|------------------------------------------|
| 1. カルビー株式会社                 | 製造業/菓子・食品の製造販売                                                   | 3,477人        | 対象:237人/実施:112人<br>※いずれも本社のみ、過去1年間       |
| 2. 株式会社コー・ワークス              | 情報通信業/システム開発全般、ダム管理システム開発、組み込みシステム開発、IT経営コーディネート、情報提供サービス        | 21人           | 対象:12人/実施:5人                             |
| 3. 佐賀県                      | 官公庁/県業務                                                          | 約4,000人       | 対象:4,000人/実施:914人<br>※2014年度実績           |
| 4. 中外製薬株式会社                 | 製造業/医療用医薬品の製造/販売/輸入                                              | 4,990人        | 対象:3,346人/実施:171人<br>※2015年9月            |
| 5. 日本航空株式会社                 | 運輸業/航空運送事業                                                       | 11,007人       | 対象:約4,000人/実施:約500人<br>※2015年4月～7月       |
| 6. 日本マイクロソフト株式会社            | 情報サービス業/ソフトウェア及びクラウドサービス、デバイスの営業/マーケティング                         | 2,156人        | 対象:2,156人/実施:1,725人<br>※2015年4月～9月       |
| 7. 株式会社Phone Appli          | 情報通信業/ネットワーク機器の販売、設計・構築・保守・運用                                    | 67人           | 対象:20人/実施:7人<br>※過去半年間                   |
| 8. 明治安田生命保険相互会社             | 金融保険業/生命保険業務                                                     | 40,793人       | 対象:1,632人/実施:445人<br>※2015年7月時点          |
| 9. 明豊ファシリティワークス株式会社         | 建設サービス業/建設に関する発注者支援(コンストラクション・マネジメント)事業                          | 218人          | 対象:218人/実施:1人<br>※終日在宅勤務は1人<br>部分在宅勤務は多数 |
| 10. 株式会社リクルートマネジメントソリューションズ | 専門サービス業/組織・人事課題に対して、人事・人材育成・組織開発施策を軸としたソリューション(制度設計、研修企画・実施など)提供 | 374人          | 対象:288人/実施:41人<br>※2015年4月～9月            |

## ■ ヒアリング対象企業等の特徴(その1)

### **カルビー株式会社**

- ・ トップの強力なリーダーシップでワークスタイル変革を推進中。在宅勤務の他に、オフィスのフリーアドレス化、直行直帰推進、会議の効率化などを進めて、業績を順調に拡大している。
- ・ 性善説に基づく制度設計に努めている。

### **株式会社コー・ワークス**

- ・ 労働時間や場所に制限がある従業員でも、その能力を最大限に発揮できるよう、働きやすい環境作りの一つとしてテレワークを推奨している。
- ・ 地方都市の場合、半農半サラリーマン的働き方をする人が多いので、将来こうした人達の能力も活かす上で在宅勤務は有効である。

### **佐賀県**

- ・ 電子決裁システムを含め、業務のペーパーレス化を徹底して進め、IT投資を積極的に進めて、テレワーク環境を整備すると同時に、早出遅出勤務制度やサテライトオフィスの利用など他の制度と組み合わせることにより、より柔軟な在宅勤務での働き方が可能となっている。
- ・ トライアル期間中を含め、管理職に積極的に在宅勤務を行うよう勧めたり、研修等を組織的に実施することにより、庁内に在宅勤務に対する理解度が高まった。

### **中外製薬株式会社**

- ・ 2012年在宅勤務導入時は、育児・介護を抱えている社員及び国際電話会議利用者に限定していたが、2015年1月よりさらに成果を最大限に出せるような柔軟な就業環境の整備として、取得事由にけがによる一時的な通勤困難、定期的な通院治療、生産性向上を加え対象を拡大した。
- ・ 柔軟かつスピーディに在宅勤務を利用できるよう、本人と上司とで適正な利用要件を確認した上で利用承認を各組織で行うようにしている。

### **日本航空株式会社**

- ・ 2015年4月に在宅勤務を導入。半日年休＋在宅勤務、在宅勤務＋直行直帰の組合せや、勤務時間選択制度(7時～10時で業務開始時間を選ぶ。フルタイムでも16時に終業可能)との併用も可能で、柔軟な労働時間の選択肢を提供している。
- ・ 在宅勤務制度を社内に浸透させるために約5,000人を対象にワークショップを展開中。本社部門を含む首都圏は終了し、現在、五大都市圏を含む地方支店で実施中。

## ■ ヒアリング対象企業等の特徴(その2)

### **日本マイクロソフト株式会社**

- ・ 全従業員がテレワークを含むフレキシブルワーク(オフィス勤務時も含め「いつでも」、「どこでも」、「誰とでも」を念頭に置いた働き方)を実践しており、自社製品を活用する形でIT環境、オフィス環境が整備されている。
- ・ 自己裁量を重視する企業文化があり、できる限り自己管理しながら仕事を進めることができるような制度・仕組みとなっている。

### **株式会社Phone Appli**

- ・ 社員が自律的に働くことを重視しており、会社から言われて在宅勤務をするのではなく、個々の社員が状況に応じて最も適した場所で仕事をするという考え方を貫いている。
- ・ 変化する社員のニーズやライフステージに合わせて運用方法を変化させるなど、多様な考え方を持つ社員に対応できるよう、制度やIT環境などを継続的に改善している。

### **明治安田生命保険相互会社**

- ・ 先行している他社事例を調査し、PC持ち帰り、面倒な承認手続、上司の意識などが障害となっている点を踏まえ、手続きや労働時間管理が柔軟に対応できる管理職、企画業務型裁量労働制適用者から在宅勤務のトライアルを開始した。
- ・ 全職員がテレワークを利用するということを念頭におき各種ルールについて検討を行い、テレワークだけのルールは必要最小限とし、柔軟な利用が可能となるよう運営。

### **明豊ファシリティワークス株式会社**

- ・ 全社員を対象としたテレワークを早い時期から導入しており、全従業員が最適な場所で働ける環境を構築している。オフィスで終日働けない人達だけのテレワークではなく、会社の競争優位性としてテレワークを導入している。
- ・ いつでも働けるが故に、働き過ぎにならないよう、「家庭は安らぎの場所」という考え方を社員へ伝え、育児・介護などを抱える社員については、煩雑な手続きを求めることなく、社員との信頼関係を前提に柔軟な対応を行っている。

### **株式会社リクルートマネジメントソリューションズ**

- ・ プロとして成長し続け、自律的なキャリアデザインを支援するという趣旨から、生産性向上を目指して、在宅勤務、モバイル勤務、直行直帰など柔軟な働き方を推奨している。
- ・ 近々オフィス移転を予定、さらにオフィス改革、IT環境の整備も含めワークスタイル変革を推進する予定である。

# 1. カルビー株式会社

## (1) 在宅勤務の概要

|                                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|---------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 業種/主の業務内容                       | 製造業/菓子・食品の製造販売                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 従業員数                            | 3,477人                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 在宅勤務導入時期                        | 2014年4月/トライアルは2013年6月に開始                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 在宅勤務導入の目的                       | <ul style="list-style-type: none"><li>・オフィスに縛られない機動的な働き方により徹底した生産性の追求、具体的には、以下のとおり。<ul style="list-style-type: none"><li>* 本社・地域事業本部のフリーアドレスオフィス化</li><li>* 営業職の直行直帰型推進</li><li>* 通勤ストレスの軽減やライフの充実のため</li></ul></li></ul>                                                          |
| 在宅勤務制度の有無.<br>在宅勤務の対象部門/<br>対象者 | <ul style="list-style-type: none"><li>・在宅勤務制度策定済み。</li><li>・対象は、以下の条件を満たしている社員。<ul style="list-style-type: none"><li>* 工場勤務者・営業外勤者を除く社員</li><li>* 自律的な働き方ができると上司が認めた者</li><li>* 新卒入社3年目以上の者(キャリア入社は卒年で判断)</li></ul></li></ul>                                                      |
| 在宅勤務の対象人数/<br>実施人数              | 対象人数:237人/実施人数:112人(いずれも本社のみ)(過去1年間)                                                                                                                                                                                                                                               |
| 在宅勤務制度の<br>内容・運用上の工夫            | <ul style="list-style-type: none"><li>・週2日まで在宅勤務は実施可能。</li><li>・勤務場所は自宅に限定。</li><li>・状況に応じて上司の判断により柔軟に在宅勤務を利用させている。骨折などの怪我により、患部以外は全く勤務に支障がない場合に、在宅勤務を適用していたこともある。</li><li>・前日までに実施予定の業務を上司に伝え、終了後アウトプットを報告する。</li><li>・8:30～17:00が所定労働時間であるが、在宅勤務の場合には7.5時間のみなし勤務としている。</li></ul> |
| 在宅勤務導入の効果                       | <ul style="list-style-type: none"><li>・周囲から話しかけられることがなくなるため、業務に集中し、効率が上がったという声が多くあった。</li><li>・性善説にたち、運用を決めたが、現在のところモラル低下による指摘、不具合はない。</li><li>・特に育児勤務者、長時間通勤者から「精神的ストレスから解放された」と大変好評であった。</li><li>・在宅勤務を継続したいという意向は、上司が71%、実施者本人が73%。</li></ul>                                   |
| 今後に向けての課題                       | <ul style="list-style-type: none"><li>・在宅勤務は目的ではなく、あくまで手段であるという意識を欠かさないようにしないといけない。目的はあくまで成果の追求である。</li></ul>                                                                                                                                                                      |

# 1. カルビー株式会社

## (2) 在宅勤務実施者の声 その1

|           |                |
|-----------|----------------|
| 性別・年齢     | 30歳代女性         |
| 家族状況      | 既婚、小4の子供1人     |
| 通勤時間・手段   | 1時間(電車通勤)      |
| 主な業務内容    | 秘書業務           |
| 在宅勤務開始時期  | 2014年4月        |
| 在宅勤務実施の理由 | 働き方の改革、及び育児・介護 |
| 在宅勤務の実施頻度 | 月3～6回          |
| 労働時間制度    | フレックスタイム制      |

|           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|-----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 在宅勤務実施者の声 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が在宅勤務をしたい日にスケジュールの調整が難しい場合には、同僚に協力を依頼する(お互いにこうした協力は日々行っている)。</li> <li>・会議が予定された場合には、自宅から電話会議で参加することもある。</li> <li>・郵便物のチェックと紙資料を使うこと以外は、在宅勤務でもオフィスと同じ仕事ができる。</li> <li>・PCは会社支給のものをを使うルールなので、在宅勤務日はそれを持ち帰るのが少し心配である。</li> <li>・ご主人(別の会社に勤務)も在宅勤務を行っている。</li> </ul> |
|-----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

※ここに掲載した事例は、在宅勤務の取組・工夫を紹介するためのものであり、各企業等の状況に応じた取組・工夫がなされることが望まれる。

近くに居住する父親のデイケアの手伝い/見送りを余裕を持ってこなせる。

通勤時間中に仕事関係のメールをチェック、処理可能なものはその場で対応。

近くに居住する父親が在宅の場合には、一緒に昼食をとることができる。

育児と家事を同時進行しながら、仕事も進める。

帰宅の通勤時間は、ネットショッピングで必要なものを購入。

夕食時間を含む。オフィス勤務日は夕食の時間が遅くなりがち。

在宅勤務日は早めに就寝。

| 【在宅勤務日】 |                | 【出社日】 |           |
|---------|----------------|-------|-----------|
| 5:00    | 睡眠             | 5:00  | 睡眠        |
| 6:00    | 身の回り<br>自宅で業務  | 6:00  | 身の回り      |
| 7:00    | 身の回り           | 7:00  | 食事・休憩     |
| 8:00    | 自宅で業務<br>身の回り  | 8:00  | 身の回り      |
| 9:00    |                | 9:00  | 通勤        |
| 10:00   | 自宅で業務          | 10:00 | 職場で業務     |
| 11:00   |                | 11:00 |           |
| 12:00   | 食事・休憩          | 12:00 | 食事・休憩     |
| 13:00   | 自宅で業務          | 13:00 |           |
| 14:00   |                | 14:00 | 職場で業務     |
| 15:00   |                | 15:00 |           |
| 16:00   | 身の回り           | 16:00 | 職場で業務     |
| 17:00   | 自宅で業務          | 17:00 |           |
| 18:00   | 食事・休憩<br>自宅で業務 | 18:00 |           |
| 19:00   |                | 19:00 | 通勤        |
| 20:00   | 身の回り           | 20:00 | 買い物<br>通勤 |
| 21:00   | 自宅で業務<br>身の回り  | 21:00 | 身の回り      |
| 22:00   |                | 22:00 |           |
| 23:00   |                | 23:00 |           |
| 24:00   | 睡眠             | 24:00 | 睡眠        |
| 25:00   |                | 25:00 |           |



# 1. カルビー株式会社

## (2) 在宅勤務実施者の声 その2

|           |            |
|-----------|------------|
| 性別・年齢     | 40歳代男性     |
| 家族状況      | 既婚、小4の子供1人 |
| 通勤時間・手段   | 30分(電車通勤)  |
| 主な業務内容    | 品質保証などの業務  |
| 在宅勤務開始時期  | 2014年4月    |
| 在宅勤務実施の理由 | 新しい勤務形態の模索 |
| 在宅勤務の実施頻度 | 2週間に1回     |
| 労働時間制度    | 通常の労働時間制   |

|           |                                                                                                                                                                                  |
|-----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 在宅勤務実施者の声 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅勤務で行う仕事は、集中してするようなものをあらかじめ計画的に決めておくことが多い。</li> <li>・在宅勤務では、人から話しかけられないことがないため、集中して仕事を進めることができる。</li> <li>・自宅ではリビングで仕事をしている。</li> </ul> |
|-----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

※ここに掲載した事例は、在宅勤務の取組・工夫を紹介するためのものであり、各企業等の状況に応じた取組・工夫がなされることが望まれる。

在宅勤務日は起床時間も少し遅く、睡眠時間が増える。

家にいると子供と過ごす時間が増え、子供も喜んでいる。

| 【在宅勤務日】 |       | 【出社日】 |       |
|---------|-------|-------|-------|
| 5:00    | 睡眠    | 5:00  | 睡眠    |
| 6:00    | 身の回り  | 6:00  | 身の回り  |
| 7:00    | 食事・休憩 | 7:00  | 食事・休憩 |
| 8:00    | 身の回り  | 8:00  | 通勤    |
| 9:00    | 自宅で業務 | 9:00  | 職場で業務 |
| 10:00   |       | 10:00 |       |
| 11:00   |       | 11:00 |       |
| 12:00   | 食事・休憩 | 12:00 | 食事・休憩 |
| 13:00   | 自宅で業務 | 13:00 | 職場で業務 |
| 14:00   |       | 14:00 |       |
| 15:00   |       | 15:00 |       |
| 16:00   | 身の回り  | 16:00 | 通勤    |
| 17:00   | 食事・休憩 | 17:00 | 食事・休憩 |
| 18:00   | 身の回り  | 18:00 | 趣味・娯楽 |
| 19:00   | 食事・休憩 | 19:00 | 食事・休憩 |
| 20:00   | 趣味・娯楽 | 20:00 | 趣味・娯楽 |
| 21:00   |       | 21:00 | 身の回り  |
| 22:00   |       | 22:00 | 趣味・娯楽 |
| 23:00   | 身の回り  | 23:00 | 身の回り  |
| 24:00   | 睡眠    | 24:00 | 睡眠    |
| 25:00   |       | 25:00 |       |



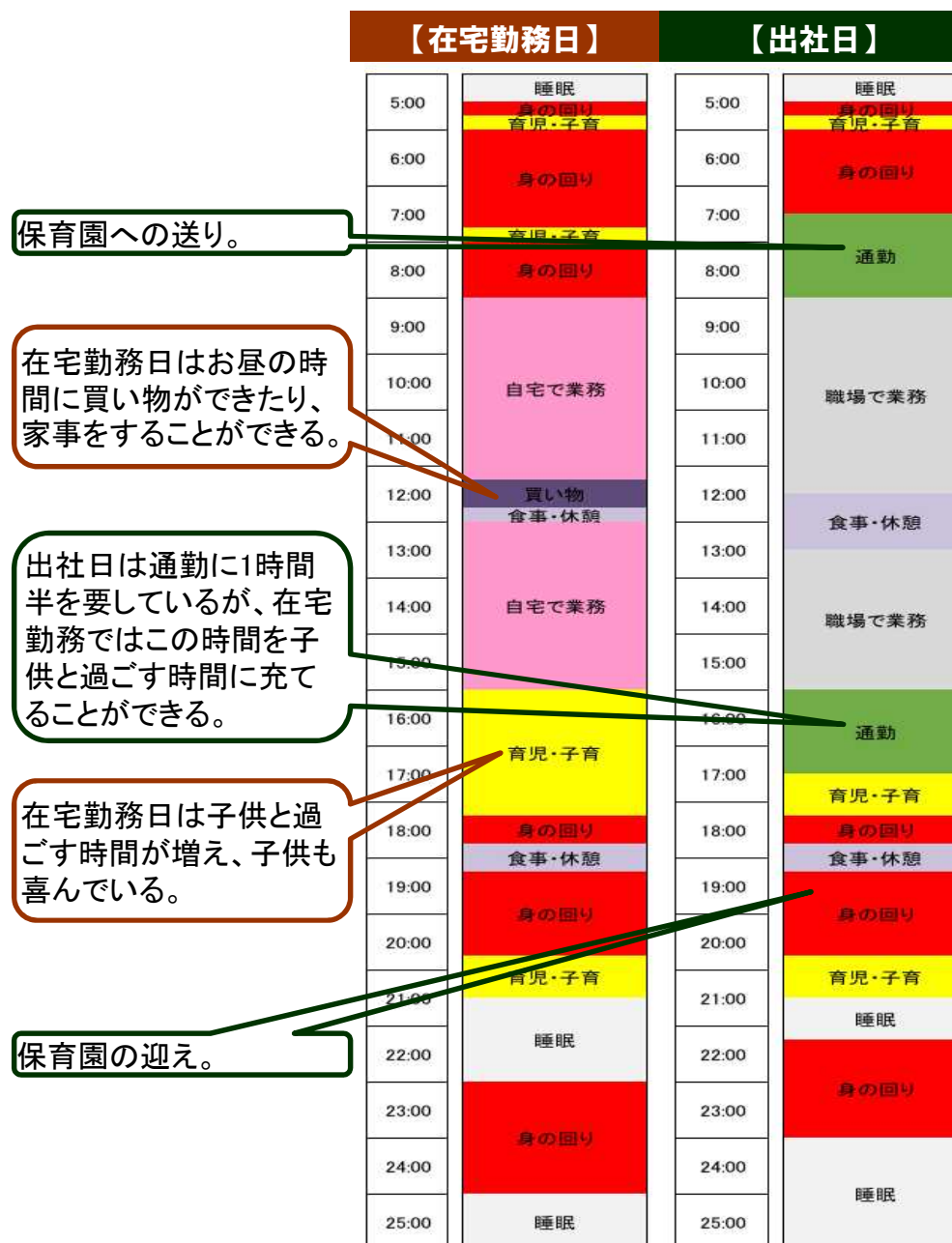
# 1. カルビー株式会社

## (2) 在宅勤務実施者の声 その3

|           |              |
|-----------|--------------|
| 性別・年齢     | 30歳代女性       |
| 家族状況      | 既婚、2歳の子供1人   |
| 通勤時間・手段   | 1時間30分(電車通勤) |
| 主な業務内容    | 品質保証などの業務    |
| 在宅勤務開始時期  | 2015年9月      |
| 在宅勤務実施の理由 | 育児のため        |
| 在宅勤務の実施頻度 | 週1回          |
| 労働時間制度    | 短時間勤務制       |

|           |                                                                                                                                                                                                                                            |
|-----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 在宅勤務実施者の声 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自宅では、リビングで仕事をしている。</li> <li>・在宅勤務で通勤がなくなることによって時間に余裕ができ、現在は子供と遊ぶ時間に充てているが、今後は自分の勉強の時間に充てたいと考えている。</li> <li>・社員がもっと在宅勤務を活用するような風土になるとよいと考えている。そのためには管理職をはじめとした全従業員の意識を今以上に変えていく必要があると思う。</li> </ul> |
|-----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

※ここに掲載した事例は、在宅勤務の取組・工夫を紹介するためのものであり、各企業等の状況に応じた取組・工夫がなされることが望まれる。



# 1. カルビー株式会社

## (2) 在宅勤務実施者の声 その4

|           |                   |
|-----------|-------------------|
| 性別・年齢     | 40歳代女性            |
| 家族状況      | 既婚、小4/小2/5歳の3人の子供 |
| 通勤時間・手段   | 1時間(電車通勤)         |
| 主な業務内容    | 生産管理業務            |
| 在宅勤務開始時期  | 2013年6月           |
| 在宅勤務実施の理由 | 制度ができたから          |
| 在宅勤務の実施頻度 | 月2~3回             |
| 労働時間制度    | 短時間勤務制            |

|           |                                                                                                                                                                                            |
|-----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 在宅勤務実施者の声 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自宅では、リビングで仕事をしている。</li> <li>・保育園は遅い時間まで預かってくれるが、子供が小学校に入り、帰宅時間が早い1~2年生の頃が一番大変である。</li> <li>・月に数回工場などへの出張があり、その日は夫と調整をして、子供の迎えなどに対応している。</li> </ul> |
|-----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

※ここに掲載した事例は、在宅勤務の取組・工夫を紹介するためのものであり、各企業等の状況に応じた取組・工夫がなされることが望まれる。

在宅勤務日は宅配便の受け取りや洗濯物の取り込みができる。

買い物もゆっくりと時間をかけることができる。

子供の習い事の送り迎えもこの時間に。

子供と過ごす時間も多くとることができる。

| 【在宅勤務日】 |        | 【出社日】 |        |
|---------|--------|-------|--------|
| 5:00    | 睡眠     | 5:00  | 睡眠     |
| 6:00    | 身の回り   | 6:00  | 身の回り   |
| 7:00    | 育児・子育て | 7:00  | 育児・子育て |
| 8:00    | 身の回り   | 8:00  | 通勤     |
| 9:00    | 自宅で業務  | 9:00  | 職場で業務  |
| 10:00   |        | 10:00 |        |
| 11:00   |        | 11:00 |        |
| 12:00   | 食事・休憩  | 12:00 | 食事・休憩  |
| 13:00   | 自宅で業務  | 13:00 | 職場で業務  |
| 14:00   |        | 14:00 |        |
| 15:00   |        | 15:00 |        |
| 16:00   | 買い物    | 16:00 | 通勤     |
| 17:00   | 育児・子育て | 17:00 | 買い物    |
| 18:00   | 身の回り   | 18:00 | 育児・子育て |
| 19:00   | 育児・子育て | 19:00 | 身の回り   |
| 20:00   | 身の回り   | 20:00 | 育児・子育て |
| 21:00   | 趣味・娯楽  | 21:00 | 身の回り   |
| 22:00   | 睡眠     | 22:00 | 趣味・娯楽  |
| 23:00   |        | 23:00 | 睡眠     |
| 24:00   |        | 24:00 |        |
| 25:00   |        | 25:00 |        |

## 2. 株式会社コー・ワークス

### (1) 在宅勤務の概要

|                                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|--------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 業種/主の業務内容                      | 情報通信業/システム開発全般、ダム管理システム開発、組み込みシステム開発、IT経営コーディネート、情報提供サービス                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 従業員数                           | 21人                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 在宅勤務導入時期                       | 2013年8月                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 在宅勤務導入の目的                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・働く意欲、また優れた能力を持ちながらも、育児や介護などに追われ、活躍の場をなかなか見つけられずにいる方たちに対し、企業側が柔軟に対応し働きやすい環境を提供することができればと考えている。</li> <li>・また、テレワークというワークスタイルにより、仕事とプライベートのバランスのとれた生活を送ることが、従業員の心身の健康向上、ひいては業務におけるパフォーマンスの向上にもつながると考えている。</li> </ul>                                                                                                                      |
| 在宅勤務制度の有無<br>在宅勤務の対象部門<br>/対象者 | <p>在宅勤務制度は策定していない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全部門、全職種が対象。担当業務の内容により取引先との契約等により情報の持ち出し等ができない部門に関しては対象外。</li> <li>・パート従業員についても在宅勤務が可能である。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                            |
| 在宅勤務の対象人数<br>/実施人数             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象人数:12人/実施人数:5人</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 在宅勤務制度の<br>内容・運用上の工夫           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自宅で行う業務の決め方については、特に定めていない。</li> <li>・担当業務を在宅で行うことに関し、セキュリティ的な問題がなければ、特に障害はない。</li> <li>・セキュリティ的な問題:取引先との機密情報を扱う作業を事務所外で行うことに対しての制限の有る場合には在宅勤務は不可。</li> <li>・業務結果の報告:週報にて一週間分の作業の内容を報告する。その都度メールなどにて報告。</li> <li>・グループウェアにてスケジュールを管理・共有しており、連絡可能時間の確認ができる。</li> <li>・やりとりの内容によってメール、インターネット電話サービス(ビデオ通話も可能)、チャット等のツールを選んでいる。</li> </ul> |
| 在宅勤務導入の効果                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・労働時間に制限はあるが、優秀な人材に活躍の場を提供し再活用することで受注高が上がり、品質や生産性の向上にもつながっていることから一定の効果があつたと実感している。</li> <li>・在宅勤務で働くことができる(パートでも)ということが、採用面で好影響が出ると考えている。</li> </ul>                                                                                                                                                                                    |

## 2. 株式会社コー・ワークス

### (2) 在宅勤務実施者の声 その1

|           |                                                           |
|-----------|-----------------------------------------------------------|
| 性別・年齢     | 30歳代男性                                                    |
| 家族状況      | 既婚、子供なし                                                   |
| 通勤時間・手段   | 30分(自転車)                                                  |
| 主な業務内容    | 総務、Web制作などの業務                                             |
| 在宅勤務開始時期  | 2015年12月                                                  |
| 在宅勤務実施の理由 | 総務省「新たなワークスタイルの実現に資するテレワークモデル実証」プロジェクトのモデル企業に採択されたのを契機に開始 |
| 在宅勤務の実施頻度 | 週1回                                                       |
| 労働時間制度    | 通常の労働時間制                                                  |

|           |                                                                                                                                                                                                                          |
|-----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 在宅勤務実施者の声 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅勤務で仕事をすることに不安はあったが、実際に行ってみると特に大きな問題はなかった。社会全体で在宅勤務への理解が深まれば、もっと実施者が増えるのではないかと思う。</li> <li>・スケジュールはグループウェアで管理、在宅勤務時はメールやインターネット電話サービス(ビデオ通話も可能)を活用してコミュニケーションをとっている。</li> </ul> |
|-----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

※ここに掲載した事例は、在宅勤務の取組・工夫を紹介するためのものであり、各企業等の状況に応じた取組・工夫がなされることが望まれる。

在宅勤務時は、オフィス勤務時の通勤時間に、掃除や食器洗いなど身の回りのことに時間を使える。

在宅勤務時は、休憩時間を身の回りの整理などに充てることもできる。

在宅勤務時はオフィス勤務時の通勤時間を、読書などの趣味や、料理などの時間に使うことができる。

| 【在宅勤務日】 |               | 【出社日】 |               |
|---------|---------------|-------|---------------|
| 5:00    | 睡眠            | 5:00  | 睡眠            |
| 6:00    | 身の回り          | 6:00  | 身の回り          |
| 7:00    | 趣味・娯楽<br>自己啓発 | 7:00  | 趣味・娯楽<br>自己啓発 |
| 8:00    | 食事・休憩<br>身の回り | 8:00  | 食事・休憩<br>通勤   |
| 9:00    | 自宅で業務         | 9:00  | 職場で業務         |
| 10:00   |               | 10:00 |               |
| 11:00   |               | 11:00 |               |
| 12:00   |               | 12:00 |               |
| 13:00   | 食事・休憩         | 13:00 | 食事・休憩         |
| 14:00   | 自宅で業務         | 14:00 | 職場で業務         |
| 15:00   |               | 15:00 |               |
| 16:00   |               | 16:00 |               |
| 17:00   |               | 17:00 |               |
| 18:00   | 趣味・娯楽<br>身の回り | 18:00 | 通勤<br>身の回り    |
| 19:00   | 食事・休憩         | 19:00 | 食事・休憩         |
| 20:00   | 趣味・娯楽         | 20:00 | 趣味・娯楽         |
| 21:00   | 身の回り          | 21:00 | 身の回り          |
| 22:00   | 睡眠            | 22:00 | 睡眠            |
| 23:00   |               | 23:00 |               |
| 24:00   |               | 24:00 |               |
| 25:00   |               | 25:00 |               |

## 2. 株式会社コー・ワークス

### (2) 在宅勤務実施者の声 その2

|           |                |
|-----------|----------------|
| 性別・年齢     | 40歳女性          |
| 家族状況      | 既婚、小4と小6の2人の子供 |
| 通勤時間・手段   | 50分(電車通勤)      |
| 主な業務内容    | 経理、労務、総務などの業務  |
| 在宅勤務開始時期  | 2012年12月       |
| 在宅勤務実施の理由 | 子育てとの両立        |
| 在宅勤務の実施頻度 | 月に2~4回         |
| 労働時間制度    | 短時間勤務          |

|           |                                                                                                                                                      |
|-----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 在宅勤務実施者の声 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自宅勤務だと、通勤時間がないので朝の家事に使える時間が増え、ゆとりをもって家事を行うことができる。</li> <li>・また、自宅勤務のほうが集中して作業が行えるため、効率がよく捗ることもある。</li> </ul> |
|-----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

※ここに掲載した事例は、在宅勤務の取組・工夫を紹介するためのものであり、各企業等の状況に応じた取組・工夫がなされることが望まれる。

在宅勤務時は通勤時間がないため、家事に時間を充てることができる。

在宅勤務時の休憩時間を、育児関連や家事の時間に充てることができる。

通勤時間を自分の休憩や自由時間に充てることができる。

| 【在宅勤務日】 |                 | 【出社日】 |                 |
|---------|-----------------|-------|-----------------|
| 5:00    | 睡眠              | 5:00  | 睡眠              |
| 6:00    | 身の回り            | 6:00  | 身の回り            |
| 7:00    | 食事・休憩<br>育児・子育て | 7:00  | 食事・休憩<br>育児・子育て |
| 8:00    | 身の回り            | 8:00  | 通勤              |
| 9:00    | 自宅で業務           | 9:00  | 職場で業務           |
| 10:00   |                 | 10:00 |                 |
| 11:00   |                 | 11:00 |                 |
| 12:00   | 食事・休憩           | 12:00 | 食事・休憩           |
| 13:00   | 自宅で業務           | 13:00 | 職場で業務           |
| 14:00   |                 | 14:00 |                 |
| 15:00   |                 | 15:00 |                 |
| 16:00   | 買い物             | 16:00 | 移動(業務関係)        |
| 17:00   | 身の回り            | 17:00 | 通勤              |
| 18:00   | 育児・子育て          | 18:00 | 買い物             |
| 19:00   | 食事・休憩           | 19:00 | 育児・子育て          |
| 20:00   | 育児・子育て          | 20:00 | 身の回り            |
| 21:00   | 身の回り            | 21:00 | 食事・休憩           |
| 22:00   | 趣味・娯楽           | 22:00 | 育児・子育て          |
| 23:00   |                 | 23:00 |                 |
| 24:00   |                 | 24:00 |                 |
| 25:00   | 睡眠              | 25:00 | 睡眠              |



### 3. 佐賀県

#### (1) 在宅勤務の概要

|                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|-------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 業種/主の業務内容               | 官公庁/県業務                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 職員数                     | 約4,000人                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 在宅勤務導入時期                | 2010年10月/トライアルは2008年1月に開始                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 在宅勤務導入の目的               | 近年の情報通信技術の発達を踏まえ、県民へのわかりやすい説明や迅速な対応など行政サービスの向上並びに業務効率化を図ること、台風等の災害発生時において業務継続性を確保すること、また、多様な働き方により職員のワークライフバランスの確立に寄与すること、育児・介護などによる離職防止や人材確保を目的としている。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 在宅勤務制度の有無・在宅勤務の対象部門/対象者 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅勤務制度策定済み。</li> <li>・全部門/全職種(臨時的任用職員、非常勤嘱託員も所属長が特に認める場合は対象とできる)。※学校・警察除く</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 在宅勤務の対象人数/実施人数          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象人数:4,000人/実施人数:914人(H26年度実績)</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 在宅勤務制度の内容・運用上の工夫        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・週1回は勤務オフィスへの出勤が条件(多くは週1回のペース)。半日在宅勤務も可能。</li> <li>・所属長への簡単な電子申請だけで在宅勤務実施が可能。</li> <li>・管理職に積極的に実施を呼びかけた。</li> <li>・勤務開始時にPCを立ち上げ、県のポータルサイトにアクセスすると、トップ画面が「出勤」確認の画面となり、その時点で出勤の確認がなされる。所属長に勤務開始報告、及び当日行う業務内容をメールで報告。勤務終了時には、終了の報告と行った業務内容をメールで報告する。</li> <li>・早出遅出勤の制度等と在宅勤務制度を組み合わせ、在宅勤務の労働時間にフレキシビリティを持たせている。</li> <li>・自宅のみならず親の実家等(例えば介護のため)での在宅勤務を認めている。</li> <li>・ペーパーレス化を推進している。電子決裁システムはH16年頃に導入済み。</li> <li>・県民の理解を得るために在宅勤務の目的等を機会あるごとに新聞、テレビ、広報誌、知事のメッセージなどで広報しているため、職員も安心して在宅勤務を利用できている。</li> <li>・県内13カ所、東京、大阪各1カ所にサテライトオフィスを設置、出張時あるいは、自宅に適切な執務環境がない場合に利用されている。</li> </ul> |
| 在宅勤務導入の効果               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・台風等で出勤が困難な際も、業務を継続することが可能となった。鳥インフルエンザ発生の際に迅速な対応も可能であった。</li> <li>・通勤時間がなくなることで、家事や育児がしやすくなったり、地域活動に参加しやすくなるなど、ワークライフバランスが向上。</li> <li>・静かな環境で集中して作業に取り組むことで、業務効率が向上した。</li> <li>・在宅勤務制度があったことにより、仕事と育児・介護の両立が出来、職場を辞めずに済んだ。</li> <li>・ペーパーレス化による紙経費の削減につながった(H26年度はH24年度対比で14.4%減)。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 今後に向けての課題               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペーパーレスのさらなる推進。徹底的なペーパーレス化をはかってきているが、依然紙資料に頼らざるを得ない部門も残っており、そういった部門では在宅勤務がとりにくいという課題が残されている。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |

### 3. 佐賀県

#### (2) 在宅勤務実施者の声 その1

|           |                                       |
|-----------|---------------------------------------|
| 性別・年齢     | 40歳代女性                                |
| 家族状況      | 既婚、高3/中3/小6/小1の4人の子供                  |
| 通勤時間・手段   | 30分(車通勤)                              |
| 主な業務内容    | 統計業務                                  |
| 在宅勤務開始時期  | 2008年1月                               |
| 在宅勤務実施の理由 | 在宅勤務のトライアルから実施、その効果を感じたため。<br>育児との両立。 |
| 在宅勤務の実施頻度 | 週2日(火曜日と木曜日)                          |
| 労働時間制度    | 在宅勤務日:通常の労働時間制<br>登庁勤務日:30分の遅出勤務      |

|           |                                                                                                                                                                 |
|-----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 在宅勤務実施者の声 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレットも大量配備しており、在宅勤務時にも活用している。</li> <li>・週1回登庁すればよい(週4日まで在宅勤務が可能)ので、子供がインフルエンザにかかったときなどでも休暇を取らずにすむというメリットもある。</li> </ul> |
|-----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

※ここに掲載した事例は、在宅勤務の取組・工夫を紹介するためのものであり、各企業等の状況に応じた取組・工夫がなされることが望まれる。

在宅勤務日は通常勤務(8:30始業)  
登庁勤務日は遅出勤務(9:00始業)  
この制度は年度単位で申請。

昼休み休憩時間に近くのスーパーで買い物、夕食の準備も行えるので、在宅勤務日の夕食は内容が濃く、家族也大歓迎。

在宅勤務日のオフィスとのコミュニケーションは、導入済みのコミュニケーションツールで内線電話と同じようにビデオ通話が可能。外部への通話は、携帯電話料金の公私分計サービスで、通話料が県庁に請求されるツールを利用。

在宅勤務日は洗濯、片付けなどに余裕を持って対応できる。

| 【在宅勤務日】 |               | 【登庁勤務日】 |               |
|---------|---------------|---------|---------------|
| 5:00    | 睡眠            | 5:00    | 睡眠            |
| 6:00    | 身の回り          | 6:00    | 身の回り          |
| 7:00    | 食事・休憩<br>身の回り | 7:00    | 食事・休憩<br>身の回り |
| 8:00    | 育児・子育て        | 8:00    | 育児・子育て        |
| 9:00    | 自宅業務          | 9:00    | 通勤            |
| 10:00   | 自宅業務          | 10:00   | 職場で業務         |
| 11:00   | 自宅業務          | 11:00   | 職場で業務         |
| 12:00   | 買い物<br>食事・休憩  | 12:00   | 食事・休憩         |
| 13:00   | 自宅業務          | 13:00   | 職場で業務         |
| 14:00   | 自宅業務          | 14:00   | 職場で業務         |
| 15:00   | 自宅業務          | 15:00   | 職場で業務         |
| 16:00   | 自宅業務          | 16:00   | 職場で業務         |
| 17:00   | 身の回り          | 17:00   | 通勤            |
| 18:00   | 食事・休憩         | 18:00   | 身の回り          |
| 19:00   | 食事・休憩         | 19:00   | 食事・休憩         |
| 20:00   | 育児・子育て        | 20:00   | 育児・子育て        |
| 21:00   | 身の回り          | 21:00   | 身の回り          |
| 22:00   | 身の回り          | 22:00   | 趣味・娯楽         |
| 23:00   | 趣味・娯楽         | 23:00   | 趣味・娯楽         |
| 24:00   | 睡眠            | 24:00   | 睡眠            |
| 25:00   | 睡眠            | 25:00   | 睡眠            |

登庁出勤日は打ち合わせを優先させている。



### 3. 佐賀県

#### (2) 在宅勤務実施者の声 その2

|           |                |
|-----------|----------------|
| 性別・年齢     | 40歳代男性         |
| 家族状況      | 既婚、小6/小3の2人の子供 |
| 通勤時間・手段   | 15分(自転車通勤)     |
| 主な業務内容    | システム関係業務       |
| 在宅勤務開始時期  | 2014年10月       |
| 在宅勤務実施の理由 | 主に子供の面倒をみるため   |
| 在宅勤務の実施頻度 | 不定期(月1~2回)     |
| 労働時間制度    | 通常の労働時間        |

|           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|-----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 在宅勤務実施者の声 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・2年前までは、東京の大企業に勤務していたが、地元に戻って中途入庁した。東京で働いていたときは、在宅勤務をしたことはなかったが、地元で働くようになって在宅勤務ができることは大きなメリットであると感じている。</li> <li>・関係部署との打ち合わせなどが多い業務なので、必ずしも在宅勤務がしやすい状況ではないが、子供が病気になったときなどは、有給をとらずに在宅勤務で対応することが可能となった。</li> <li>・自宅では、リビングスペースにPC用のデスクをセットして仕事をしている。</li> </ul> |
|-----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

※ここに掲載した事例は、在宅勤務の取組・工夫を紹介するためのものであり、各企業等の状況に応じた取組・工夫がなされることが望まれる。

在宅勤務日は、資料の読み込み・作成を優先して行うようにしている。

この日は子供の体調がよくなく、妻も働いているため、在宅勤務をしながら子供の食事を準備したりした。

在宅勤務日は夕食時間も早くなり、家族と一緒に夕食を食べることができる。



### 3. 佐賀県

#### (2)在宅勤務実施者の声 その3

|           |                       |
|-----------|-----------------------|
| 性別・年齢     | 30歳代女性                |
| 家族状況      | 既婚、3歳の子供が1人           |
| 通勤時間・手段   | 10分(自転車通勤)            |
| 主な業務内容    | 経理、補助金、施設管理、予算管理などの業務 |
| 在宅勤務開始時期  | 2015年4月               |
| 在宅勤務実施の理由 | 家事時間確保のための通勤時間短縮      |
| 在宅勤務の実施頻度 | 週1回                   |
| 労働時間制度    | 休憩時間の特例(昼45分休憩)       |

#### 在宅勤務実施者の声

- ・子供ができ育児休業復帰後1年間は、課内人員の事情による業務見直しのため、テレワークを利用することができなかった。その後、課内人員が通常に戻ったため、週に1回のペースで在宅勤務を行えるようになった。(育児休業前の所属は紙ベースの業務だったため、テレワークを行うことができなかったが、復帰後の所属ではペーパーレス化が進んでいたこともありテレワークが可能となった。)
- ・在宅勤務を始めた当初は、できる日にとるという形であったが、1年前からは毎週木曜日を在宅勤務日と決め、定期的にとるようになった。
- ・自宅では基本的にダイニングで仕事をしているが、Wi-Fiでネットワークに接続しているので気分を変えるために自宅内で場所を変えて仕事をすることもある。
- ・昼の休憩時間を15分短縮する制度を活用している。これは子供が就学する前まで年単位で申請して利用できる制度である。

通勤は自転車で10分と非常に短いですが、それでも在宅勤務日は気分的に落ち着いて仕事ができる。

昼の休憩時間に夕食の準備をすることができるので、夕食の内容が充実し、家族からも好評である。

昼の休憩時間を15分短縮できる制度を利用し、終業時間を早めて、育児に時間を充たしている。

| 【在宅勤務日】 |                | 【登庁勤務日】 |                |
|---------|----------------|---------|----------------|
| 5:00    | 睡眠             | 5:00    | 睡眠             |
| 6:00    | 身の回り           | 6:00    | 身の回り           |
| 7:00    | 育児・子育て         | 7:00    | 育児・子育て         |
| 8:00    | 身の回り           | 8:00    | 通勤             |
| 9:00    | 自宅で業務          | 9:00    | 職場で業務          |
| 10:00   |                | 10:00   |                |
| 11:00   |                | 11:00   |                |
| 12:00   | 食事・休憩<br>身の回り  | 12:00   | 食事・休憩          |
| 13:00   |                | 13:00   |                |
| 14:00   | 自宅で業務          | 14:00   | 職場で業務          |
| 15:00   |                | 15:00   |                |
| 16:00   |                | 16:00   |                |
| 17:00   | 身の回り           | 17:00   | 通勤<br>身の回り     |
| 18:00   | 育児・子育て         | 18:00   | 育児・子育て         |
| 19:00   | 食事・休憩<br>身の回り  | 19:00   | 食事・休憩<br>身の回り  |
| 20:00   | 育児・子育て<br>身の回り | 20:00   | 育児・子育て<br>身の回り |
| 21:00   | 育児・子育て         | 21:00   | 育児・子育て         |
| 22:00   |                | 22:00   |                |
| 23:00   | 睡眠             | 23:00   | 睡眠             |
| 24:00   |                | 24:00   |                |
| 25:00   |                | 25:00   |                |

※ここに掲載した事例は、在宅勤務の取組・工夫を紹介するためのものであり、各企業等の状況に応じた取組・工夫がなされることが望まれる。

## 4. 中外製薬株式会社

### (1) 在宅勤務の概要

|                                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|--------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 業種/主の業務内容                      | 製造業/医療用医薬品の製造/販売/輸入                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 従業員数                           | 4,990人(単体、2015年12月31日現在)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 在宅勤務導入時期                       | 2012年7月/トライアルは2012年2月に開始                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 在宅勤務導入の目的                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・通勤時間の節約により、社員が育児や介護と仕事をより両立しやすくするための環境の整備。</li> <li>・グローバル環境における業務効率化と長時間労働削減。</li> <li>・2015年1月よりさらに成果を最大限に出せるような柔軟な就業環境の整備として、取得事由にけがによる一時的な通勤困難、定期的な通院治療、生産性向上を加え対象を拡大した。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 在宅勤務制度の有無<br>在宅勤務の対象部門<br>/対象者 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅勤務制度導入済み。</li> <li>・外勤業務を主たる業務としている者以外でガイドラインに従い上司が承認した者。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 在宅勤務の対象人数<br>/実施人数             | 対象人数:3,346人/実施人数171人(2015年9月)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 在宅勤務制度の<br>内容・運用上の工夫           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅勤務の可能日数は、以下のとおり。 <ul style="list-style-type: none"> <li>* 育児、介護、生産性向上・業務効率化のための利用:月5回上限(連続3営業日まで)</li> <li>* 海外との電話会議参加:制限なし</li> <li>* 定期的な通院治療、けがによる一時的な通勤困難:個別判断</li> </ul> </li> <li>・在宅勤務実施の条件としては、以下のとおり。 <ul style="list-style-type: none"> <li>* 自宅内で業務に専念できる就業環境を確保できる</li> <li>* 在宅勤務が可能な業務であり、組織長が認めた者</li> <li>* 自己管理、時間管理ができる等の適正な利用要件を確認していること</li> </ul> </li> <li>・柔軟かつスピーディに在宅勤務を利用できるよう、本人と上司とでチェックリストを用いて在宅の業務内容、適正利用要件の確認を行い、利用承認を各組織で行うようにしている。</li> <li>・在宅勤務制度の理解浸透に向け、イントラネットで在宅勤務に関する情報(ガイドライン、申請書、Q&amp;Aなど)を提供している。</li> <li>・早朝や夜間の国際電話会議がある場合には、自宅での電話会議参加を認めている。</li> </ul> |
| 在宅勤務導入の効果                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅勤務制度利用による本人の仕事の進め方の変化(2014年アンケート)。</li> <li>  上司:良くなった34%、変化なし66%、悪くなった0%</li> <li>  本人:良くなった69%、変化なし31%、悪くなった0%</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 今後に向けての課題                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・柔軟な働き方に対する理解</li> <li>・マネジメント層の利用率増加</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |

## 4. 中外製薬株式会社

### (2) 在宅勤務実施者の声 その1

|           |                   |
|-----------|-------------------|
| 性別・年齢     | 30歳代女性            |
| 家族状況      | 既婚、小2/幼稚園年長の2人の子供 |
| 通勤時間・手段   | 1時間30分(新幹線通勤)     |
| 主な業務内容    | 分析にかかわる業務         |
| 在宅勤務開始時期  | 2012年7月           |
| 在宅勤務実施の理由 | 育児との両立(幼稚園の送り迎え)  |
| 在宅勤務の実施頻度 | 月5回               |
| 労働時間制度    | フレックスタイム制         |

|           |                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|-----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 在宅勤務実施者の声 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・業務はPCを使つての解析作業が中心であり、PCがあればどこでもオフィスにいるときと同じ仕事ができる。在宅勤務日にはPCを持ち帰るが、データはPCでは保存しない運用であり、またPCからの情報漏えい対策が取られているため、セキュリティ上の心配はない。</li> <li>・在宅勤務時は自宅の書斎で執務。大型モニターを設置しているので、効率よく仕事ができる。</li> <li>・現在月5回までフルに在宅勤務を活用している。</li> </ul> |
|-----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

在宅勤務日は出社日より1時間早く始業。

新幹線通勤をしている。毎日座れるとはいえ、在宅勤務日に比べると疲れを感じる。

書斎には会社同様の大型モニターがあり、より集中して解析できるため、効率が上がり、とてもメリットを感じる。

今日は子供の迎えのため16:30に退社。

帰宅後車で子供を迎えに行く。

自宅から海外との国際電話会議。

| 【在宅勤務日】 |        | 【出社日】 |        |
|---------|--------|-------|--------|
| 5:00    | 睡眠     | 5:00  | 睡眠     |
|         | 身の回り   |       | 身の回り   |
| 6:00    | 食事・休憩  | 6:00  | 食事・休憩  |
|         | 育児・子育て |       | 育児・子育て |
| 7:00    |        | 7:00  | 通勤     |
| 8:00    |        | 8:00  |        |
| 9:00    | 自宅で業務  | 9:00  | 職場で業務  |
| 10:00   |        | 10:00 |        |
| 11:00   |        | 11:00 |        |
| 12:00   | 食事・休憩  | 12:00 | 食事・休憩  |
| 13:00   |        | 13:00 |        |
| 14:00   |        | 14:00 | 職場で業務  |
| 15:00   | 自宅で業務  | 15:00 |        |
| 16:00   |        | 16:00 | 通勤     |
| 17:00   |        | 17:00 |        |
| 18:00   | 育児・子育て | 18:00 | 育児・子育て |
|         | 食事・休憩  |       | 食事・休憩  |
| 19:00   |        | 19:00 |        |
| 20:00   | 育児・子育て | 20:00 | 育児・子育て |
| 21:00   | 自宅で業務  | 21:00 |        |
| 22:00   | 身の回り   | 22:00 |        |
| 23:00   |        | 23:00 | 睡眠     |
| 24:00   | 睡眠     | 24:00 |        |
| 25:00   |        | 25:00 |        |

※ここに掲載した事例は、在宅勤務の取組・工夫を紹介するためのものであり、各企業等の状況に応じた取組・工夫がなされることが望まれる。



## 4. 中外製薬株式会社

### (2) 在宅勤務実施者の声 その2

|           |                 |
|-----------|-----------------|
| 性別・年齢     | 30歳代男性          |
| 家族状況      | 既婚、5歳/3カ月の2人の子供 |
| 通勤時間・手段   | 1時間30分(電車通勤)    |
| 主な業務内容    | 人事関係業務          |
| 在宅勤務開始時期  | 2016年1月         |
| 在宅勤務実施の理由 | 育児との両立          |
| 在宅勤務の実施頻度 | 月5回             |
| 労働時間制度    | フレックスタイム制       |

|           |                                                                                                                                                                          |
|-----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 在宅勤務実施者の声 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅勤務日には、会社で使用しているモバイルPCを持ち帰っている。</li> <li>・在宅勤務日は業務の時間割を決めており、残業をしないので、いつも以上に時間を意識して業務を行う。</li> <li>・タイムマネジメント力が上がった。</li> </ul> |
|-----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

※ここに掲載した事例は、在宅勤務の取組・工夫を紹介するためのものであり、各企業等の状況に応じた取組・工夫がなされることが望まれる。

下の子供が3カ月とまだ小さいので、幼稚園の支度や弁当作り、見送りをを行うなど、できるだけ育児を行うようにしている。

通勤には1時間30分かかるので、在宅勤務で通勤がなくなると身体的/精神的な疲れが少なくメリットを感じている。

集中して考えたり、まとめあげたりする業務を在宅勤務日に行うようにしている。

在宅勤務日は家族とゆっくり食事ができ、会話も弾む。

出社日は、夕食を家族と一緒にとることがほとんどできない。



## 5. 日本航空株式会社

### (1) 在宅勤務の概要

|                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|-------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 業種/主の業務内容               | 運輸業/航空運送事業                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 従業員数                    | 11,007人                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 在宅勤務導入時期                | 2015年4月(トライアルは2014年4月に開始)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 在宅勤務導入の目的               | 場所にしばられない働き方の実現で、生産性の向上を果たす。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 在宅勤務制度の有無・在宅勤務の対象部門/対象者 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅勤務制度策定済み</li> <li>・間接の全部門、全職種</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 在宅勤務の対象人数/実施人数          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象人数:約4,000人(JALグループ連結)/実施回数:約1,317人日(2015年4月～2016年1月)</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 在宅勤務制度の内容・運用上の工夫        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅勤務の可能回数は週1日。実施者の平均は月1～2回程度。</li> <li>・半日年休＋在宅勤務、在宅勤務＋直行直帰も可能。</li> <li>・在宅勤務時は、所定の労働時間を勤務すれば、勤務時間の一時中断を認める分割勤務制度を導入している。</li> <li>・日ごとに個人単位で始業時間を選べる勤務時間選択制度(7時～10時で業務開始時間を選ぶ。フルタイムでも16時に終業可能)との併用も可能。勤務時間選択制度は、前日までに翌日の勤務時間を申請すればよい。</li> <li>・現時点では、オフィス、自宅以外の場所での勤務は不可としているが、近々独身寮/社宅や空港などに執務可能スペースを設置する方向で調整中。</li> <li>・在宅勤務制度を社内に浸透させるために約5,000人を対象にワークショップを展開中。本社部門を含む首都圏は終了し、現在、五大都市圏を含む地方支店で実施中。</li> </ul> |
| 在宅勤務導入の効果               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・業務への集中度が向上し、想像以上に生産性が向上しているという声が寄せられている。</li> <li>・過去には、新卒で入社した女性総合職で30歳代に残っているのは3割程度であったが、現在は8割を超えるまで改善を果たしている。</li> <li>・在宅勤務だけの効果ではないが、残業時間も減少しており、本社間接は2015年第3Qで前年対比約2割の削減。同社では残業時間の削減対策として、平日18:30以降及び土日のメール/電話を原則禁止、会議の終了時間は17:30まで、遅くとも20:00退社の全社ルールを定め、徹底している。</li> </ul>                                                                                                                                      |
| 今後に向けての課題               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・当初想定以上の効果が得られたことから、規制緩和に向けた更なる運用ルールの見直しを実施中。</li> <li>・電話を含むITセキュリティ環境の整備を2016年4月に実施予定。</li> <li>・さらなる勤務形態の柔軟化を実施。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                          |



## 5. 日本航空株式会社

### (2) 在宅勤務実施者の声 その1

|           |                           |
|-----------|---------------------------|
| 性別・年齢     | 30歳代女性                    |
| 家族状況      | 既婚、子供なし                   |
| 通勤時間・手段   | 40分(電車通勤)                 |
| 主な業務内容    | 法人対象の精算業務等                |
| 在宅勤務開始時期  | 2014年8月                   |
| 在宅勤務実施の理由 | トライアル対象で開始                |
| 在宅勤務の実施頻度 | 週1回                       |
| 労働時間制度    | 通常の労働時間<br>(ただし、勤務時間選択制度) |

#### 在宅勤務実施者の声

- ・在宅勤務時の業務はオフィス勤務時と同じであるが、在宅勤務時は集中して処理する仕事(例えばマニュアル作りなど)を行うよう、意図的に仕事の仕分けをしている。
- ・勤務時間選択制度を有効に活用し、在宅勤務時は早めの始業時間を選択し、終業時間を繰り上げることが可能となるため、夕方の時間を個人の趣味や自己啓発などに使うことが可能となっている。
- ・在宅勤務日は出勤前の身の回りの用事に時間をかける必要がなく、通勤もないため、リラックスした気分で仕事を始めることができる。

※ここに掲載した事例は、在宅勤務の取組・工夫を紹介するためのものであり、各企業等の状況に応じた取組・工夫がなされることが望まれる。

朝の身支度に時間がとられないので、在宅勤務日は出社日より1時間早く始業する。

勤務時間選択制度により、早く始業して、早く終業できるので、プールに行くなど健康的な生活が可能となっている。

| 【在宅勤務日】 |               | 【出社日】 |               |
|---------|---------------|-------|---------------|
| 5:00    | 睡眠            | 5:00  | 睡眠            |
| 6:00    |               | 6:00  |               |
| 7:00    | 身の回り<br>食事・休憩 | 7:00  | 身の回り<br>食事・休憩 |
| 8:00    | 身の回り          | 8:00  | 身の回り          |
| 9:00    | 自宅で業務         | 9:00  | 通勤            |
| 10:00   |               | 10:00 | 職場で業務         |
| 11:00   |               | 11:00 |               |
| 12:00   | 食事・休憩<br>身の回り | 12:00 | 食事・休憩         |
| 13:00   |               | 13:00 |               |
| 14:00   | 自宅で業務         | 14:00 |               |
| 15:00   |               | 15:00 | 職場で業務         |
| 16:00   |               | 16:00 |               |
| 17:00   | 身の回り          | 17:00 |               |
| 18:00   | 趣味・娯楽         | 18:00 | 通勤            |
| 19:00   |               | 19:00 | 買い物           |
| 20:00   | 身の回り          | 20:00 | 身の回り          |
| 21:00   | 食事・休憩         | 21:00 | 食事・休憩         |
| 22:00   | 身の回り          | 22:00 | 身の回り          |
| 23:00   | 趣味・娯楽         | 23:00 | 趣味・娯楽         |
| 24:00   | 睡眠            | 24:00 | 睡眠            |
| 25:00   |               | 25:00 |               |

## 5. 日本航空株式会社

### (2) 在宅勤務実施者の声 その2

|           |                    |
|-----------|--------------------|
| 性別・年齢     | 20歳代男性             |
| 家族状況      | 既婚、子供なし            |
| 通勤時間・手段   | 1時間10分(電車通勤)       |
| 主な業務内容    | 販促物の購買業務           |
| 在宅勤務開始時期  | 2012年2月            |
| 在宅勤務実施の理由 | 集中作業を行うため、BCP確保のため |
| 在宅勤務の実施頻度 | 平均月2回              |
| 労働時間制度    | 通常の労働時間            |

|           |                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|-----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 在宅勤務実施者の声 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・海外出張から帰宅した翌日に在宅勤務をすると、体調的に朝が楽である。</li> <li>・部として残業削減に取り組んでおり、ペーパーレス化も進んでいるので、自宅で仕事ができる環境が整えられている。</li> <li>・コミュニケーションは会社から貸与されているスマートフォンに導入されているソーシャルネットワーキングサービスの一つを利用し、画像付きで話をすることが多い。</li> <li>・在宅勤務の時は自宅のダイニングで仕事をしている。</li> </ul> |
|-----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

※ここに掲載した事例は、在宅勤務の取組・工夫を紹介するためのものであり、各企業等の状況に応じた取組・工夫がなされることが望まれる。

在宅勤務日は、通勤時間がないので、自己啓発に時間をかけることが可能である。

在宅勤務日は、通勤時間がないので、自己啓発に時間をかけることが可能である。

在宅勤務日は、睡眠時間も長くとることができる。

| 【在宅勤務日】 |       | 【出社日】 |       |
|---------|-------|-------|-------|
| 5:00    | 睡眠    | 5:00  | 睡眠    |
| 6:00    |       | 6:00  | 食事・休憩 |
| 7:00    | 食事・休憩 | 7:00  | 身の回り  |
| 8:00    | 自己啓発  | 8:00  | 通勤    |
| 9:00    | 身の回り  | 9:00  |       |
| 10:00   | 自宅で業務 | 10:00 | 職場で業務 |
| 11:00   |       | 11:00 |       |
| 12:00   | 食事・休憩 | 12:00 | 食事・休憩 |
| 13:00   |       | 13:00 |       |
| 14:00   |       | 14:00 |       |
| 15:00   | 自宅で業務 | 15:00 | 職場で業務 |
| 16:00   |       | 16:00 |       |
| 17:00   |       | 17:00 |       |
| 18:00   | 身の回り  | 18:00 | 通勤    |
| 19:00   | 自己啓発  | 19:00 | 身の回り  |
| 20:00   | 食事・休憩 | 20:00 | 食事・休憩 |
| 21:00   | 自己啓発  | 21:00 | 自己啓発  |
| 22:00   | 身の回り  | 22:00 | 身の回り  |
| 23:00   |       | 23:00 | 趣味・娯楽 |
| 24:00   | 睡眠    | 24:00 | 睡眠    |
| 25:00   |       | 25:00 |       |

## 5. 日本航空株式会社

### (2) 在宅勤務実施者の声 その3

|           |                |
|-----------|----------------|
| 性別・年齢     | 40歳代女性         |
| 家族状況      | 既婚、小5/小1の2人の子供 |
| 通勤時間・手段   | 1時間30分(電車通勤)   |
| 主な業務内容    | 総務系業務          |
| 在宅勤務開始時期  | 2015年6月        |
| 在宅勤務実施の理由 | 会社で制度導入をした為    |
| 在宅勤務の実施頻度 | 月2回            |
| 労働時間制度    | 通常の労働時間        |

|           |                                                                                                                                                                                                                                 |
|-----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 在宅勤務実施者の声 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、部内のバランスを考慮して在宅勤務は月に2回しか行っていないが、回数を増やしたいと考えている。</li> <li>・子供は小学生になっているが、心のケア等も必要であり、子育てに時間がかかるため、在宅勤務の制度ができたことはありがたい。</li> <li>・子供がインフルエンザにかかったときなども、在宅勤務で仕事をするができるようになった。</li> </ul> |
|-----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

※ここに掲載した事例は、在宅勤務の取組・工夫を紹介するためのものであり、各企業等の状況に応じた取組・工夫がなされることが望まれる。

在宅勤務日は朝の身支度もゆったりとできる。

在宅勤務日には買い物もゆっくりとすることができる。

| 【在宅勤務日】 |        | 【出社日】 |        |
|---------|--------|-------|--------|
| 5:00    | 睡眠     | 5:00  | 睡眠     |
| 6:00    | 身の回り   | 6:00  | 身の回り   |
| 7:00    | 身の回り   | 7:00  | 通勤     |
| 8:00    | 自宅で業務  | 8:00  | 職場で業務  |
| 9:00    |        | 9:00  |        |
| 10:00   |        | 10:00 |        |
| 11:00   |        | 11:00 |        |
| 12:00   | 食事・休憩  | 12:00 | 食事・休憩  |
| 13:00   | 自宅で業務  | 13:00 | 職場で業務  |
| 14:00   |        | 14:00 |        |
| 15:00   |        | 15:00 |        |
| 16:00   |        | 16:00 |        |
| 17:00   | 買い物    | 17:00 | 通勤     |
| 18:00   | 身の回り   | 18:00 | 育児・子育て |
| 19:00   | 育児・子育て | 19:00 | 食事・休憩  |
| 20:00   |        | 20:00 | 育児・子育て |
| 21:00   |        | 21:00 | 育児・子育て |
| 22:00   | 身の回り   | 22:00 | 身の回り   |
| 23:00   | 睡眠     | 23:00 | 睡眠     |
| 24:00   |        | 24:00 |        |
| 25:00   |        | 25:00 |        |

## 5. 日本航空株式会社

### (2) 在宅勤務実施者の声 その4

|           |              |
|-----------|--------------|
| 性別・年齢     | 30歳代女性       |
| 家族状況      | 未婚           |
| 通勤時間・手段   | 30分(電車通勤)    |
| 主な業務内容    | 契約・履行管理などの業務 |
| 在宅勤務開始時期  | 2015年2月      |
| 在宅勤務実施の理由 | 本部ルール        |
| 在宅勤務の実施頻度 | 月1回          |
| 労働時間制度    | 通常の労働時間      |

|           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|-----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 在宅勤務実施者の声 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・海外出張が多く、夕方のフライトで出発するときなどは在宅勤務をした方が楽(居住地が本社オフィスと成田空港の中間にあるため)。</li> <li>・海外との連絡や電話会議は時差の関係から夜遅い時間になることも時折あり、オフィスに居残ることなく自宅に対応することができる。</li> <li>・空調に敏感なため、自宅で仕事をするときには、自分の好みに合わせて温度を設定することが可能になるのも在宅勤務の一つのメリットである。</li> <li>・寮に備え付けのデスク、いすで仕事をしているので、執務環境的には問題はない。</li> </ul> |
|-----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

※ここに掲載した事例は、在宅勤務の取組・工夫を紹介するためのものであり、各企業等の状況に応じた取組・工夫がなされることが望まれる。

#### 【在宅勤務日】

|       |       |
|-------|-------|
| 5:00  |       |
| 6:00  | 睡眠    |
| 7:00  |       |
| 8:00  | 身の回り  |
| 9:00  |       |
| 10:00 | 自宅で業務 |
| 11:00 |       |
| 12:00 | 食事・休憩 |
| 13:00 |       |
| 14:00 |       |
| 15:00 | 自宅で業務 |
| 16:00 |       |
| 17:00 |       |
| 18:00 | 買い物   |
| 19:00 | 身の回り  |
| 20:00 |       |
| 21:00 | 自己啓発  |
| 22:00 | 趣味・娯楽 |
| 23:00 | 身の回り  |
| 24:00 | 睡眠    |
| 25:00 |       |

在宅勤務日には買い物もゆっくりとすることができる。

#### 【出社日】

|       |       |
|-------|-------|
| 5:00  | 睡眠    |
| 6:00  |       |
| 7:00  | 身の回り  |
| 8:00  | 通勤    |
| 9:00  |       |
| 10:00 | 職場で業務 |
| 11:00 |       |
| 12:00 | 食事・休憩 |
| 13:00 |       |
| 14:00 |       |
| 15:00 | 職場で業務 |
| 16:00 |       |
| 17:00 |       |
| 18:00 | 趣味・娯楽 |
| 19:00 | 通勤    |
| 20:00 | 身の回り  |
| 21:00 | 自己啓発  |
| 22:00 | 趣味・娯楽 |
| 23:00 | 身の回り  |
| 24:00 | 睡眠    |
| 25:00 |       |

## 6. 日本マイクロソフト株式会社

### (1) 在宅勤務の概要

|                                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|--------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 業種/主の業務内容                      | 情報サービス業/ソフトウェア及びクラウドサービス、デバイスの営業/マーケティング                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 従業員数                           | 2,156人                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 在宅勤務導入時期                       | 2007年1月、在宅勤務以外のテレワークは1986年2月にトライアルを開始                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 在宅勤務導入の目的                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な働き方を通じ、生産性向上とワークライフバランスの実現をはかり、経営効率の向上・改善を目指す。</li> <li>・同社ではテレワークを含む「フレキシブルワーク」が全従業員で実践されている。フレキシブルワークという働き方は、本社オフィス内で行う業務も含み、「いつでも」、「どこでも」、「誰とでも」を念頭に置いた働き方である。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 在宅勤務制度の有無<br>在宅勤務の対象部門<br>/対象者 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅勤務制度策定済み。</li> <li>・全部門、全職種。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 在宅勤務の対象人数<br>/実施人数             | 対象人数:2,156人/実施人数:1,725人(H27年4月～9月の半年間)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 在宅勤務制度の<br>内容・運用上の工夫           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・社員の希望や状況に応じて1日から、週3日(3ヵ月以上継続)、週5日(1ヵ月以内)と柔軟に設定</li> <li>①職務内容が在宅勤務に適していると上司が判断していること</li> <li>②在宅勤務を行うことにより高い業務生産性が上げられること</li> <li>③通常の自身及び職場の業務遂行に支障が生じないこと</li> <li>④勤務態度、勤務状況に問題がないこと</li> <li>⑤在宅勤務適用期間中に業務上会社や上司の指示による在宅勤務日変更や、在宅勤務中の急な出社・出張命令、及び所定労働時間外労働(残業)命令に応じられること</li> <li>⑥在宅勤務中に育児、介護、看護、自身の障害やその他業務外の理由により業務が中断することなく、業務に集中できる環境で勤務できること</li> <li>・在宅勤務制度を開始する際には、社員と直属のマネージャーが「どのように在宅勤務制度を利用していくか」という点について話し合いがなされ、合意がなされる。その後も両者が定期的にミーティングを行う中で、テレワーク勤務が適切に行われているか話し合い、テレワーク期間の更新は上司が判断する。自己裁量を重視するカルチャーの中で、できる限り自己管理しながら実施できるよう上司はサポートする。</li> </ul> |
| 在宅勤務導入の効果                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業生産性(社員一人当たり売上高):26%Up</li> <li>・残業時間:5%Down</li> <li>・ワークライフバランス満足度:40%Up</li> <li>・女性の離職率:40%Down</li> <li>・働きがいのある会社との意識調査結果:7%Up</li> <li>・ペーパーレス:49%Down</li> <li>・旅費・交通費:20%Down</li> <li>・電力消費量:40%Down</li> <li>・各種プログラムや団体から表彰多数</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 今後に向けての課題                      | 「人」を中心とした生産性向上やワークライフバランスの実現という取組は、終わることのない取り組みであるとの認識の元、都度発生する課題を把握し、解決策をタイムリーに提供し、さらに先進的なテレワークを継続的に実現していくことが課題である。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |



## 6. 日本マイクロソフト株式会社

### (2) 在宅勤務実施者の声 その1

|           |                          |
|-----------|--------------------------|
| 性別・年齢     | 40歳代男性                   |
| 家族状況      | 既婚、子供なし                  |
| 通勤時間・手段   | 1時間10分(電車通勤)             |
| 主な業務内容    | 技術支援を行う営業などの業務           |
| 在宅勤務開始時期  | 2011年2月                  |
| 在宅勤務実施の理由 | 業務の生産性向上とワークライフバランス向上のため |
| 在宅勤務の実施頻度 | 週1回程度                    |
| 労働時間制度    | 裁量労働制                    |

|           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|-----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 在宅勤務実施者の声 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・モバイルワークは2011年以前から実施していたが、2011年以降本格的に在宅勤務を実施するようになった。</li> <li>・在宅勤務時の利用端末は個人所有のPC、それとは別に会社支給のものをオフィスに置いている。移動するときも含め手元に必ずPC端末を持ち歩いている。</li> <li>・テレワークができない会社が多い中で、近隣の人からも、在宅勤務ができる会社に勤めているということで評価されている。</li> <li>・今後、鹿児島在住の両親の介護の問題に直面する可能性があり、その場合に長期にわたって遠隔で業務を行うことができるかどうか不安である。</li> </ul> |
|-----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

※ここに掲載した事例は、在宅勤務の取組・工夫を紹介するためのものであり、各企業等の状況に応じた取組・工夫がなされることが望まれる。

移動中は仕事関係のメールをチェックしている。

在宅勤務と直行直帰型のモバイル勤務を組み合わせることも多い。

東日本大震災関係のボランティア活動を行っており、在宅勤務日にはその活動の準備などがしやすい。

その日のうちに処理できるものがある場合には、帰宅後にも仕事をすることがある。

| 【在宅勤務日】 |             | 【出社日】 |             |
|---------|-------------|-------|-------------|
| 5:00    | 睡眠          | 5:00  | 睡眠          |
|         | 食事・休憩       |       | 食事・休憩       |
| 6:00    | 身の回り        | 6:00  | 自宅での業務      |
|         | 自己啓発        |       | 身の回り        |
| 7:00    |             | 7:00  | 通勤          |
|         | 自宅で業務       |       | 自己啓発        |
| 8:00    |             | 8:00  |             |
| 9:00    |             | 9:00  | 職場での業務      |
| 10:00   |             | 10:00 |             |
| 11:00   | 食事・休憩       | 11:00 |             |
| 12:00   | 移動(業務関係)    | 12:00 | 食事・休憩       |
| 13:00   | 業務(自宅と職場以外) | 13:00 | 移動(業務関係)    |
| 14:00   | 移動(業務関係)    | 14:00 | 業務(自宅と職場以外) |
| 15:00   |             | 15:00 | 移動(業務関係)    |
| 16:00   | 業務(自宅と職場以外) | 16:00 | 職場での業務      |
| 17:00   |             | 17:00 |             |
| 18:00   | 地域活動        | 18:00 | 自己啓発        |
| 19:00   |             | 19:00 | 通勤          |
| 20:00   | 食事・休憩       | 20:00 | 食事・休憩       |
| 21:00   | 身の回り        | 21:00 | 身の回り        |
|         | 自宅で業務       |       | 自宅で業務       |
| 22:00   | 趣味・娯楽       | 22:00 | 趣味・娯楽       |
| 23:00   |             | 23:00 |             |
| 24:00   | 睡眠          | 24:00 | 睡眠          |
| 25:00   |             | 25:00 |             |

## 6. 日本マイクロソフト株式会社

### (2) 在宅勤務実施者の声 その2

|           |              |
|-----------|--------------|
| 性別・年齢     | 30歳代女性       |
| 家族状況      | 既婚、2歳の子供が1人  |
| 通勤時間・手段   | 1時間20分(電車通勤) |
| 主な業務内容    | マーケティング業務    |
| 在宅勤務開始時期  | 2008年10月     |
| 在宅勤務実施の理由 | 育児と仕事の両立のため  |
| 在宅勤務の実施頻度 | 月1~2回程度      |
| 労働時間制度    | 裁量労働制        |

|           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|-----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 在宅勤務実施者の声 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自宅に会社から貸与されたPCを置いているので、在宅勤務のためにPCを持ち帰る必要がない。</li> <li>・大雨や大雪など災害時には、在宅勤務を行っている。</li> <li>・公私のOn-Offは、子供の状況で決めており、子供が寝れば、夜間に業務のフォローをすることがある。土日でもモバイルを活用してメールのチェックをしている。</li> <li>・今の働き方に満足しており、引き続きフレキシブルな働き方を続けたい。フレキシブルな働き方は育児・介護に限定されていると誤解する人も多いので、この考え方を変えていきたい。</li> </ul> |
|-----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

※ここに掲載した事例は、在宅勤務の取組・工夫を紹介するためのものであり、各企業等の状況に応じた取組・工夫がなされることが望まれる。

在宅勤務日は通勤時間を育児に当てることができ、とてもメリットがある。

在宅勤務日は朝や昼のスキマ時間に家事ができ、とてもメリットがある。

通勤時間には仕事関係のメールをチェックしている。

在宅勤務日は朝や昼のスキマ時間に家事ができ、とてもメリットがある。

在宅勤務日は通勤時間を育児に当てることができ、とてもメリットがある。

出社日は通勤の疲れもあり、子供と一緒にうたた寝をしてしまうこともある。

| 【在宅勤務日】 |        | 【出社日】 |        |
|---------|--------|-------|--------|
| 5:00    | 身の回り   | 5:00  | 身の回り   |
| 6:00    | 食事・休憩  | 6:00  | 食事・休憩  |
| 7:00    | 育児・子育て | 7:00  | 育児・子育て |
| 8:00    | 身の回り   | 8:00  | 通勤     |
| 9:00    | 自宅で業務  | 9:00  | 職場で業務  |
| 10:00   | 自宅で業務  | 10:00 | 職場で業務  |
| 11:00   | 自宅で業務  | 11:00 | 職場で業務  |
| 12:00   | 食事・休憩  | 12:00 | 食事・休憩  |
| 13:00   | 身の回り   | 13:00 | 職場で業務  |
| 14:00   | 自宅で業務  | 14:00 | 職場で業務  |
| 15:00   | 自宅で業務  | 15:00 | 職場で業務  |
| 16:00   | 自宅で業務  | 16:00 | 職場で業務  |
| 17:00   | 買い物    | 17:00 | 通勤     |
| 18:00   | 育児・子育て | 18:00 | 育児・子育て |
| 19:00   | 食事・休憩  | 19:00 | 食事・休憩  |
| 20:00   | 育児・子育て | 20:00 | 育児・子育て |
| 21:00   |        | 21:00 | 睡眠     |
| 22:00   |        | 22:00 | 身の回り   |
| 23:00   | 睡眠     | 23:00 | 睡眠     |
| 24:00   |        | 24:00 | 睡眠     |
| 25:00   |        | 25:00 |        |

## 6. 日本マイクロソフト株式会社

### (2) 在宅勤務実施者の声 その3

|           |             |
|-----------|-------------|
| 性別・年齢     | 女性          |
| 家族状況      | 既婚、子供あり     |
| 通勤時間・手段   | 30分(電車通勤)   |
| 主な業務内容    | 事務系業務       |
| 在宅勤務開始時期  | 2011年       |
| 在宅勤務実施の理由 | 時間を効率的に使うため |
| 在宅勤務の実施頻度 | 週1回         |
| 労働時間制度    | 裁量労働制       |

|           |                                                                                                                                                                              |
|-----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 在宅勤務実施者の声 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅勤務日には会社のPC端末を持ち帰っている。</li> <li>・若い頃は、公私混在しながら在宅勤務をすることもあったが、現在は公私をしっかり分けて仕事をしている。したがってオフィス勤務時と在宅勤務日の仕事の時間帯は変えないようにしている。</li> </ul> |
|-----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

※ここに掲載した事例は、在宅勤務の取組・工夫を紹介するためのものであり、各企業等の状況に応じた取組・工夫がなされることが望まれる。

在宅勤務日は、長文資料の検討、文書作成など集中力を要する業務を集中して仕上げることが多い。

在宅勤務日には、食事の内容が充実し、家族にもよろこばれている。

| 【在宅勤務日】 |                       | 【出社日】 |                 |
|---------|-----------------------|-------|-----------------|
| 5:00    | 睡眠                    | 5:00  | 睡眠              |
| 6:00    | 身の回り<br>食事・休憩         | 6:00  | 身の回り<br>食事・休憩   |
| 7:00    | 育児・子育て<br>趣味・娯楽       | 7:00  | 育児・子育て<br>趣味・娯楽 |
| 8:00    | 自己啓発                  | 8:00  | 自己啓発            |
| 9:00    | 身の回り                  | 9:00  | 身の回り<br>通勤      |
| 10:00   | 自宅で業務                 | 10:00 | 職場で業務           |
| 11:00   |                       | 11:00 |                 |
| 12:00   | 食事・休憩<br>自己啓発<br>身の回り | 12:00 | 食事・休憩           |
| 13:00   | 自宅で業務                 | 13:00 | 職場で業務           |
| 14:00   |                       | 14:00 |                 |
| 15:00   | 食事・休憩                 | 15:00 | 食事・休憩           |
| 16:00   | 自宅で業務                 | 16:00 | 職場で業務           |
| 17:00   | 身の回り                  | 17:00 | 通勤              |
| 18:00   | 育児・子育て                | 18:00 | 育児・子育て          |
| 19:00   | 食事・休憩                 | 19:00 | 食事・休憩           |
| 20:00   | 育児・子育て                | 20:00 | 育児・子育て          |
| 21:00   | 自宅で業務<br>育児・子育て       | 21:00 | 自宅で業務<br>育児・子育て |
| 22:00   | 身の回り<br>趣味・娯楽         | 22:00 | 身の回り<br>育児・子育て  |
| 23:00   |                       | 23:00 |                 |
| 24:00   | 睡眠                    | 24:00 | 睡眠              |
| 25:00   |                       | 25:00 |                 |

## 7. 株式会社Phone Appli

### (1) 在宅勤務の概要

|                                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|--------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 業種/主の業務内容                      | 情報通信業/ネットワーク機器の販売、設計・構築・保守・運用                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 従業員数                           | 67人                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 在宅勤務導入時期                       | 2011年6月                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 在宅勤務導入の目的                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・インフラ構築・クラウド提供によるワークスタイル改革サービスを提供するため、自社で実践しお客様におすすめるため。</li> <li>・中小企業の人材確保(既存社員・採用の両面)を考慮し、新しい働き方を1つの価値として考えているため。</li> <li>・社員で育児や個人の体調管理の都合により、柔軟な働き方を提供することが社員の満足度向上につながると考えたため。</li> <li>・会社に住居することではなく、成果を主軸とした組織改革の1つとして場所の概念を変えたかったため。</li> </ul>                                                                                                                                            |
| 在宅勤務制度の有無<br>在宅勤務の対象部門<br>/対象者 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅勤務制度策定済み。</li> <li>・全部門、全職種。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 在宅勤務の対象人数<br>/実施人数             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象人数:20人/実施人数:7人(過去半年間)</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 在宅勤務制度の<br>内容・運用上の工夫           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅勤務日の制限はなし。</li> <li>・朝ミーティングでの業務確認(在宅時もビデオ会議システムから参加)。</li> <li>・クラウド型勤怠管理システムによる勤怠打刻(在宅・営業や技術の客先も含む)。</li> <li>・チャットにて、随時業務報告。</li> <li>・工数実績入力(クラウド型工数実績システムに入力)。</li> <li>・育児中の在宅勤務に関しては、時間を柔軟にカウントする運用を実施している。当初は在宅も完全に9:00～18:00の勤務としていたが、育児中の社員より、この時間帯をフルに勤務することが難しい日もあり、半休や有給にしてしまった方が多いという声があがったことから、1日のうちで合わせて8時間の勤務があれば、9:00～18:00にこだわらない運用をしている。時間軸ではなく成果軸で判断する方向にシフトをしている。</li> </ul> |
| 在宅勤務導入の効果                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・同社の事業として在宅勤務のサービスを顧客に提案するために、社内でも実際に体験することが最初のねらいだったが、結果的には、自社内での業務の効率化・満足度につながった。</li> <li>・さらに、毎年様々に変化する社員のニーズやライフステージにあわせて運用方法を変化させるなど、いろいろな社員に対応できるよう常に改善しており、社員の満足度はアップしている。</li> <li>・在宅勤務を日常的に活用している社員の月の平均労働時間が10時間以上減った。</li> <li>・事故による電車遅延の場合など、自己判断で帰宅し在宅に切り替え、無駄な時間を減らすことができています。</li> <li>・会社から言われての在宅でなく、自発的にスケジュールを決めることや、天候や交通機関、健康状態などで自ら判断して在宅勤務を実施している。</li> </ul>               |



## 7. 株式会社Phone Appli

### (2) 在宅勤務実施者の声 その1

|           |                                           |
|-----------|-------------------------------------------|
| 性別・年齢     | 40歳代女性                                    |
| 家族状況      | 既婚、中1/小5の2人の子供                            |
| 通勤時間・手段   | 1時間10分(電車通勤)                              |
| 主な業務内容    | 総務・人事・広報などの業務                             |
| 在宅勤務開始時期  | 2015年6月                                   |
| 在宅勤務実施の理由 | ワークライフバランスの充実                             |
| 在宅勤務の実施頻度 | 月2回                                       |
| 労働時間制度    | 通常の労働時間<br>(合計8時間あれば、9:00～18:00にこだわらない運用) |

|           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|-----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 在宅勤務実施者の声 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・民間企業に就職したが、第1子誕生を機に退職、その後子供の成長に合わせて、在宅での請負業務、パート、派遣などを経て、2014年6月に同社に就職。同社に就職後、在宅勤務という働き方があることを知り、これがあれば退職しなくてもすんだと思った。</li> <li>・在宅勤務時はリビングのテーブルで仕事をしているが、子供も在宅で仕事をしていることを理解しており、邪魔をされることはない。</li> <li>・在宅勤務の日のために、集中して行う仕事を仕分けして、あらかじめ準備している。</li> <li>・今後在宅勤務日を増やしていきたいと考えている。</li> </ul> |
|-----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

※ここに掲載した事例は、在宅勤務の取組・工夫を紹介するためのものであり、各企業等の状況に応じた取組・工夫がなされることが望まれる。

子供の学教行事が平日の昼間にもたれることが多く、勤務時間中の中抜け(就業時間中に私用や家庭の事情でいったん執務から離れること)で参加することができる。

在宅勤務日は子供との時間を多くとることができる。

出社日の食事時間は遅くなりがちであるが、在宅勤務日は早めの夕食を子供と一緒にとることができる。

| 【在宅勤務日】 |        | 【出社日】 |        |
|---------|--------|-------|--------|
| 5:00    | 睡眠     | 5:00  | 睡眠     |
| 6:00    | 身の回り   | 6:00  | 身の回り   |
| 7:00    |        | 7:00  | 通勤     |
| 8:00    |        | 8:00  |        |
| 9:00    | 自宅で業務  | 9:00  | 職場で業務  |
| 10:00   |        | 10:00 |        |
| 11:00   |        | 11:00 |        |
| 12:00   | 食事・休憩  | 12:00 | 食事・休憩  |
| 13:00   | 自宅で業務  | 13:00 |        |
| 14:00   |        | 14:00 | 職場で業務  |
| 15:00   | 育児・子育て | 15:00 |        |
| 16:00   | 買い物    | 16:00 |        |
| 17:00   | 自宅で業務  | 17:00 |        |
| 18:00   | 身の回り   | 18:00 | 通勤     |
| 19:00   | 食事・休憩  | 19:00 | 買い物    |
|         | 育児・子育て |       | 身の回り   |
| 20:00   | 身の回り   | 20:00 | 食事・休憩  |
|         |        |       | 育児・子育て |
| 21:00   | 地域活動   | 21:00 | 身の回り   |
| 22:00   | 趣味・娯楽  | 22:00 | 趣味・娯楽  |
| 23:00   | 身の回り   | 23:00 | 身の回り   |
| 24:00   |        | 24:00 |        |
| 25:00   | 睡眠     | 25:00 | 睡眠     |



## 7. 株式会社Phone Appli

### (2) 在宅勤務実施者の声 その2

|           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|-----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 性別・年齢     | 30歳代男性                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 家族状況      | 既婚、1歳4カ月の1人の子供                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 通勤時間・手段   | 1時間(電車通勤)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 主な業務内容    | システム開発系の業務                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 在宅勤務開始時期  | 2014年4月                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 在宅勤務実施の理由 | 妻の妊娠時の家事負担軽減                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 在宅勤務の実施頻度 | 月1回                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 労働時間制度    | 通常の労働時間<br>(合計8時間あれば、9:00～18:00にこだわらない運用)                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 在宅勤務実施者の声 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅勤務制度があることは知っていたが、使うタイミングがなかった。妻の妊娠をきっかけに、妻のケア、家事負担などを軽減するために在宅勤務を開始した。</li> <li>・妻も仕事をしているために、保育園の送り迎えを担当している。</li> <li>・仕事先での業務もあり、その場合は在宅勤務は無理だが、資料作成などには在宅勤務が向いている。</li> <li>・在宅勤務に慣れるまでは戸惑いもあったが、同僚の働き方をまねして徐々に慣れていった。</li> <li>・外出先のカフェ等でメールをチェックしたりするが、他人に覗かれないか不安はある。</li> </ul> |

※ここに掲載した事例は、在宅勤務の取組・工夫を紹介するためのものであり、各企業等の状況に応じた取組・工夫がなされることが望まれる。

| 【在宅勤務日】 |                 | 【出社日】 |                |
|---------|-----------------|-------|----------------|
| 5:00    | 睡眠              | 5:00  | 睡眠             |
| 6:00    |                 | 6:00  | 身の回り<br>育児・子育て |
| 7:00    | 育児・子育て<br>食事・休憩 | 7:00  | 食事・休憩<br>身の回り  |
| 8:00    | 身の回り<br>育児・子育て  | 8:00  | 通勤             |
| 9:00    |                 | 9:00  |                |
| 10:00   | 自宅で業務           | 10:00 | 職場で業務          |
| 11:00   |                 | 11:00 |                |
| 12:00   | 食事・休憩           | 12:00 | 食事・休憩          |
| 13:00   |                 | 13:00 |                |
| 14:00   | 自宅で業務           | 14:00 | 職場で業務          |
| 15:00   |                 | 15:00 |                |
| 16:00   | 育児・子育て          | 16:00 |                |
| 17:00   | 自宅で業務           | 17:00 |                |
| 18:00   | 育児・子育て          | 18:00 | 通勤             |
| 19:00   | 食事・休憩<br>身の回り   | 19:00 | 身の回り<br>食事・休憩  |
| 20:00   | 育児・子育て          | 20:00 | 育児・子育て         |
| 21:00   | 自己啓発            | 21:00 | 自己啓発           |
| 22:00   | 趣味・娯楽           | 22:00 | 趣味・娯楽          |
| 23:00   |                 | 23:00 |                |
| 24:00   | 睡眠              | 24:00 | 睡眠             |
| 25:00   |                 | 25:00 |                |

子供を保育園へ送る。

子供を保育園へ送る。

妻が仕事をしているため、保育園にお迎え。勤務時間中の中抜け(就業時間中に私用や家庭の事情でいったん執務から離れること)後残りの仕事を行う。

プライベートの時間が増え、週末のような感覚で家族と過ごすことができる。

子供を保育園へ迎え。

システム開発にかかわる学習や情報収集。

## 7. 株式会社Phone Appli

### (2) 在宅勤務実施者の声 その3

|           |                                           |
|-----------|-------------------------------------------|
| 性別・年齢     | 20歳代女性                                    |
| 家族状況      | 未婚                                        |
| 通勤時間・手段   | 1時間(電車通勤)                                 |
| 主な業務内容    | 営業関係の業務                                   |
| 在宅勤務開始時期  | 2012年7月                                   |
| 在宅勤務実施の理由 | お客様へのご提案のためのデモ・実体験                        |
| 在宅勤務の実施頻度 | 週1回                                       |
| 労働時間制度    | 通常の労働時間<br>(合計8時間あれば、9:00～18:00にこだわらない運用) |

|           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|-----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 在宅勤務実施者の声 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・普段から家族との時間を大切にしているため、在宅勤務の制度は非常にうれしく思う。</li> <li>・通常の業務はデスクで完結できるため、自宅でもオフィス勤務時と同じ業務ができる。</li> <li>・大雨で駅が冠水したり、大雪で電車がストップしたときには、その場で判断して在宅勤務に切り替えている。</li> <li>・在宅勤務時にはチャットも多用するが、相手側の空気が読めずに不安になるときもある。</li> <li>・友人等周囲の人達からは在宅勤務ができることを評価してもらえるが、一方でいつでもどこでも仕事ができるということは働き過ぎにならないかという声もある。</li> </ul> |
|-----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

※ここに掲載した事例は、在宅勤務の取組・工夫を紹介するためのものであり、各企業等の状況に応じた取組・工夫がなされることが望まれる。

在宅勤務日は、起床時間も少し遅くてすみ、睡眠時間を多くとることができる。

英語の学習をしている(仕事で外資系企業から問い合わせを受けることが多いため)。

| 【在宅勤務日】 |       | 【出社日】 |       |
|---------|-------|-------|-------|
| 5:00    | 睡眠    | 5:00  | 睡眠    |
| 6:00    | 睡眠    | 6:00  | 身の回り  |
| 7:00    | 食事・休憩 | 7:00  | 通勤    |
| 8:00    | 自己啓発  | 8:00  | 通勤    |
| 9:00    | 身の回り  | 9:00  | 職場で業務 |
| 10:00   | 自宅業務  | 10:00 | 職場で業務 |
| 11:00   | 自宅業務  | 11:00 | 職場で業務 |
| 12:00   | 身の回り  | 12:00 | 食事・休憩 |
| 13:00   | 食事・休憩 | 13:00 | 職場で業務 |
| 14:00   | 自宅業務  | 14:00 | 職場で業務 |
| 15:00   | 自宅業務  | 15:00 | 職場で業務 |
| 16:00   | 自宅業務  | 16:00 | 職場で業務 |
| 17:00   | 自宅業務  | 17:00 | 職場で業務 |
| 18:00   | 買い物   | 18:00 | 買い物   |
| 19:00   | 身の回り  | 19:00 | 通勤    |
| 20:00   | 食事・休憩 | 20:00 | 身の回り  |
| 21:00   | 自己啓発  | 21:00 | 食事・休憩 |
| 22:00   | 趣味・娯楽 | 22:00 | 自己啓発  |
| 23:00   | 自己啓発  | 23:00 | 趣味・娯楽 |
| 24:00   | 身の回り  | 24:00 | 身の回り  |
| 25:00   | 睡眠    | 25:00 | 睡眠    |

## 8. 明治安田生命保険相互会社

### (1) 在宅勤務の概要

|                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |  |
|-------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
| 業種/主の業務内容               | 金融保険業/生命保険業務                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |  |
| 従業員数                    | 40,793人(うち営業職員30,101人)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |  |
| 在宅勤務導入時期                | 2015年1月からトライアル実施、2016年3月までトライアル期間                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |  |
| 在宅勤務導入の目的               | <p>①働き方改革の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全社統一早帰り日の設定、フレックスタイム制や裁量労働制等の柔軟な勤務を可能とする制度の導入等を通じて従業員一人ひとりの働き方の改革を推進。</li> <li>・上記取組みによってワークライフバランスが進展するものの、本社組織を中心に長時間労働や長時間通勤による負担といった改善すべき問題が依然として存在しており、勤務場所の制約にとらわれることなく業務を可能とするテレワークの導入によって働き方の改革のさらなる推進を企図。</li> </ul> <p>②ダイバーシティマネジメントの強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中期経営計画「NEXT チャレンジプログラム」において「人財力改革」を一つの柱として打ち出し、その取組みの一つとして「ダイバーシティマネジメントの強化」を掲げ、柔軟な働き方を可能にする制度としてテレワークを導入し、育児中等の女性がキャリアロスをしえないような環境の整備を実施。</li> </ul>                                                                                                                                  |  |
| 在宅勤務制度の有無、在宅勤務の対象部門/対象者 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅勤務制度は未策定(2016年4月に策定予定)。</li> <li>・対象者:管理監督者および企画業務型裁量労働制適用者。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象部門:本社組織。</li> <li>・育児・介護を事由とする場合は左記以外の職員でも実施可能。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |  |
| 在宅勤務の対象人数/実施人数          | 対象人数:1,632人／実施人数:445人(2015年7月時点)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |  |
| 在宅勤務制度の内容・運用上の工夫        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・テレワークについては、終日・半日に加えて部分利用も可能とし、柔軟な利用ができるような運営を実施。</li> <li>・テレワークの実施をきっかけに、業務プロセスの見直しやワークフローの円滑化が進み、業務の効率化が実現することをテレワーク導入の目的の一つとしており、テレワークでも会社での勤務と同じような環境を構築しているため、在宅勤務で行なう業務の限定は特になし。</li> <li>・トライアルに先立ち、他社の先進事例を調査した。その結果、PC持ち帰り、承認手続きが面倒、上司の意識が障害となっているなどの問題点が明らかとなった。その結果、手続きや労働時間管理が柔軟に対応できる管理職、裁量労働制適用者からの導入が望ましいとの結論に至った。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                           |  |
| 在宅勤務導入の効果               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業場以外(自宅や出張先等)で業務に取り組むことや空き時間等にメールを確認できる業務環境が整備されたことで、業務効率が向上。</li> <li>・育児・介護等の事由で会社での勤務時間に制約がある職員のパフォーマンス発揮に寄与。</li> <li>・総労働時間および残業時間が縮減しており、職員の働き方改革に寄与している。</li> <li>・柔軟な働き方が可能となることで長時間通勤の職員の肉体的・精神的負担の軽減に貢献。</li> <li>・テレワーク利用者へのアンケート結果は以下のとおり。</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 約4割の利用者が家族と過ごす時間が増加</li> <li>* 約8割の利用者の業務の効率が向上</li> <li>* 約4割の上司が部下のアウトプットの質の向上を実感</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 約半数の利用者が家庭と仕事の両立のしやすさが改善</li> <li>* 約7割の利用者が通勤時間削減により肉体的・精神的負担軽減を実感</li> </ul> </div> |  |

## 8. 明治安田生命保険相互会社

### (2) 在宅勤務実施者の声 その1

|           |                          |
|-----------|--------------------------|
| 性別・年齢     | 40歳代男性                   |
| 家族状況      | 既婚、4歳(幼稚園)/1歳(保育園)の2人の子供 |
| 通勤時間・手段   | 1時間30分(電車通勤)             |
| 主な業務内容    | 内部監査業務                   |
| 在宅勤務開始時期  | 2015年6月                  |
| 在宅勤務実施の理由 | 通勤時間を有効に使いたいため           |
| 在宅勤務の実施頻度 | 2カ月に1回程度                 |
| 労働時間制度    | 裁量労働制                    |

|           |                                                                                                                                                                                                                                        |
|-----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 在宅勤務実施者の声 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅勤務時に集中して業務を行いたいため、あらかじめ在宅勤務でやるべき仕事を仕分けしておくことが多い。</li> <li>・通勤時間がなくなった分を基本的には育児・子育ての時間に充てている。</li> <li>・在宅勤務時には、奥さんの書斎を借りて執務している。</li> <li>・学校の行事などがある場合には、部分在宅勤務と組み合わせて対応することもある。</li> </ul> |
|-----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

※ここに掲載した事例は、在宅勤務の取組・工夫を紹介するためのものであり、各企業等の状況に応じた取組・工夫がなされることが望まれる。

在宅勤務日は起床時間が少し遅くてもよいとため、気分的にも楽。着替え等にも時間がかからない。

幼稚園、保育園への送り。

幼稚園の迎え。

習いごとに連れて行く。

保育園の迎え。

| 【在宅勤務日】 |        | 【出社日】 |        |
|---------|--------|-------|--------|
| 5:00    | 睡眠     | 5:00  | 身の回り   |
|         | 身の回り   | 6:00  | 通勤     |
| 7:00    | 自宅で業務  | 7:00  |        |
| 8:00    | 育児・子育て | 8:00  |        |
| 9:00    |        | 9:00  | 職場で業務  |
| 10:00   | 自宅で業務  | 10:00 |        |
| 11:00   |        | 11:00 |        |
| 12:00   | 食事・休憩  | 12:00 | 食事・休憩  |
| 13:00   | 育児・子育て | 13:00 |        |
| 14:00   |        | 14:00 | 職場で業務  |
| 15:00   | 自宅で業務  | 15:00 |        |
| 16:00   | 育児・子育て | 16:00 |        |
| 17:00   | 自宅で業務  | 17:00 |        |
| 18:00   |        | 18:00 |        |
| 19:00   | 食事・休憩  | 19:00 | 通勤     |
| 20:00   | 身の回り   | 20:00 | 身の回り   |
| 21:00   | 育児・子育て | 21:00 | 育児・子育て |
| 22:00   |        | 22:00 |        |
| 23:00   | 睡眠     | 23:00 | 睡眠     |
| 24:00   |        | 24:00 |        |
| 25:00   |        | 25:00 |        |

## 8. 明治安田生命保険相互会社

### (2) 在宅勤務実施者の声 その2

|           |                          |
|-----------|--------------------------|
| 性別・年齢     | 40歳代男性                   |
| 家族状況      | 既婚、高校生/中学生の2人の子供         |
| 通勤時間・手段   | 50分(電車通勤)                |
| 主な業務内容    | システム開発系の業務               |
| 在宅勤務開始時期  | 2015年8月                  |
| 在宅勤務実施の理由 | 業務効率化、通勤負荷の軽減            |
| 在宅勤務の実施頻度 | 5ヶ月間で終日在宅勤務を3回、半日在宅勤務を1回 |
| 労働時間制度    | 裁量労働制                    |

|           |                                                                                                                                                                                                                                      |
|-----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 在宅勤務実施者の声 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅勤務日でもオフィス勤務と同じ内容の仕事をしているが、特に資料作成等に当てることで効率が上がっている。</li> <li>・在宅勤務を予定している日に打ち合わせなどが入らないよう、予め予定表に「在宅勤務」と記載しておくような工夫をしている。</li> <li>・自宅ではWi-Fi環境を整備しているので、リビングやデスクの両方を活用して仕事をしている。</li> </ul> |
|-----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

※ここに掲載した事例は、在宅勤務の取組・工夫を紹介するためのものであり、各企業等の状況に応じた取組・工夫がなされることが望まれる。

在宅勤務日には、朝にまとまった時間がとれ、自己啓発に充当することができるのはメリットである。

気分転換に犬の散歩に出て、残りの時間お仕事について考えることもある。

在宅勤務日には家族と一緒に食事を食べることができる。

| 【在宅勤務日】 |                       | 【出社日】 |               |
|---------|-----------------------|-------|---------------|
| 5:00    | 趣味・娯楽                 | 5:00  | 趣味・娯楽         |
| 6:00    | 身の回り<br>食事・休憩<br>身の回り | 6:00  | 身の回り<br>食事・休憩 |
| 7:00    | 自己啓発                  | 7:00  | 通勤            |
| 8:00    | 自宅で業務                 | 8:00  | 職場で業務         |
| 9:00    |                       | 9:00  |               |
| 10:00   |                       | 10:00 |               |
| 11:00   |                       | 11:00 |               |
| 12:00   | 食事・休憩                 | 12:00 | 食事・休憩         |
| 13:00   | 自宅で業務                 | 13:00 | 職場で業務         |
| 14:00   |                       | 14:00 |               |
| 15:00   | 食事・休憩                 | 15:00 |               |
| 16:00   | 自宅で業務                 | 16:00 |               |
| 17:00   | 身の回り                  | 17:00 | 通勤            |
| 18:00   |                       | 18:00 |               |
| 19:00   | 食事・休憩                 | 19:00 | 身の回り          |
| 20:00   | 趣味・娯楽                 | 20:00 | 食事・休憩         |
| 21:00   | 身の回り<br>自己啓発          | 21:00 | 趣味・娯楽         |
| 22:00   | 睡眠                    | 22:00 | 身の回り<br>自己啓発  |
| 23:00   |                       | 23:00 | 睡眠            |
| 24:00   |                       | 24:00 |               |
| 25:00   |                       | 25:00 |               |



## 8. 明治安田生命保険相互会社

### (2) 在宅勤務実施者の声 その3

|           |                            |
|-----------|----------------------------|
| 性別・年齢     | 50歳代男性                     |
| 家族状況      | 既婚、20才の1人の子供               |
| 通勤時間・手段   | 1時間(電車通勤)                  |
| 主な業務内容    | 事務系業務                      |
| 在宅勤務開始時期  | 2015年6月                    |
| 在宅勤務実施の理由 | トライアルの実施があり、テレワークに興味があったため |
| 在宅勤務の実施頻度 | 半日在宅勤務を半年で2回程度             |
| 労働時間制度    | 裁量労働制                      |

|           |                                                                                                                                                                                |
|-----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 在宅勤務実施者の声 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペーパーレス化が進んでいるので、在宅勤務が可能になったと思う。</li> <li>・対面で打ち合わせ等が必要となることもあるが、週に1日くらいであれば在宅勤務は可能であると思う。</li> <li>・自宅では、自分の部屋のデスクで仕事をしている。</li> </ul> |
|-----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

※ここに掲載した事例は、在宅勤務の取組・工夫を紹介するためのものであり、各企業等の状況に応じた取組・工夫がなされることが望まれる。

在宅勤務日の昼食は、好きなものをゆっくりと食べることができるので、とてもよい。

半日在宅勤務であるが、昼の時間帯の電車は朝の時間帯ほど混んでいないので、楽である。

| 【在宅勤務日】 |                       | 【出社日】 |                       |
|---------|-----------------------|-------|-----------------------|
| 5:00    | 睡眠                    | 5:00  | 睡眠                    |
| 6:00    |                       | 6:00  | 身の回り<br>食事・休憩<br>身の回り |
| 7:00    | 身の回り<br>食事・休憩<br>身の回り | 7:00  | 通勤                    |
| 8:00    |                       | 8:00  | 自己啓発                  |
| 9:00    | 自宅で業務                 | 9:00  |                       |
| 10:00   |                       | 10:00 | 職場で業務                 |
| 11:00   | 食事・休憩                 | 11:00 |                       |
| 12:00   | 通勤                    | 12:00 | 食事・休憩                 |
| 13:00   |                       | 13:00 |                       |
| 14:00   |                       | 14:00 |                       |
| 15:00   |                       | 15:00 |                       |
| 16:00   | 職場で業務                 | 16:00 | 職場で業務                 |
| 17:00   |                       | 17:00 |                       |
| 18:00   |                       | 18:00 |                       |
| 19:00   |                       | 19:00 | 通勤                    |
| 20:00   | 身の回り<br>食事・休憩         | 20:00 | 身の回り<br>食事・休憩         |
| 21:00   | 趣味・娯楽                 | 21:00 | 趣味・娯楽                 |
| 22:00   |                       | 22:00 |                       |
| 23:00   |                       | 23:00 |                       |
| 24:00   | 睡眠                    | 24:00 | 睡眠                    |
| 25:00   |                       | 25:00 |                       |

## 8. 明治安田生命保険相互会社

### (2) 在宅勤務実施者の声 その4

|           |                   |
|-----------|-------------------|
| 性別・年齢     | 30歳代男性            |
| 家族状況      | 既婚、小2/5歳/3歳の3人の子供 |
| 通勤時間・手段   | 1時間(電車通勤)         |
| 主な業務内容    | 内部管理などの業務         |
| 在宅勤務開始時期  | 2015年6月           |
| 在宅勤務実施の理由 | 業務効率化             |
| 在宅勤務の実施頻度 | 月1回               |
| 労働時間制度    | 裁量労働制             |

|           |                                                                                                                                                                                                              |
|-----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 在宅勤務実施者の声 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・終日在宅勤務を実施すれば、通勤時間がなくなりメリットが大きい。</li> <li>・自宅では、リビングで仕事をしているが、長時間座っていると、いすが堅めであるため少々つらいと感じることもある。</li> <li>・在宅勤務回数が増えると、育児等家族との時間が増えワークライフバランスにも寄与すると思います。</li> </ul> |
|-----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

※ここに掲載した事例は、在宅勤務の取組・工夫を紹介するためのものであり、各企業等の状況に応じた取組・工夫がなされることが望まれる。

子供が風邪を引いた際、妻が用事があり看護ができない状況でも、休暇をとることなく、在宅勤務で仕事をする事ができた。

繁忙期以外は、ルーティン業務が中心であるため、在宅勤務で対応が可能である。

| 【在宅勤務日】 |        | 【出社日】 |        |
|---------|--------|-------|--------|
| 5:00    | 睡眠     | 5:00  | 睡眠     |
| 6:00    | 食事・休憩  | 6:00  | 食事・休憩  |
| 7:00    |        | 7:00  | 通勤     |
| 8:00    |        | 8:00  |        |
| 9:00    | 自宅で業務  | 9:00  | 職場で業務  |
| 10:00   |        | 10:00 |        |
| 11:00   | 通勤     | 11:00 |        |
| 12:00   | 食事・休憩  | 12:00 | 食事・休憩  |
| 13:00   |        | 13:00 |        |
| 14:00   |        | 14:00 |        |
| 15:00   | 職場で業務  | 15:00 | 職場で業務  |
| 16:00   |        | 16:00 |        |
| 17:00   |        | 17:00 |        |
| 18:00   |        | 18:00 |        |
| 19:00   | 通勤     | 19:00 | 通勤     |
| 20:00   | 食事・休憩  | 20:00 | 食事・休憩  |
| 21:00   | 育児・子育て | 21:00 | 育児・子育て |
| 22:00   | 趣味・娯楽  | 22:00 | 趣味・娯楽  |
| 23:00   |        | 23:00 |        |
| 24:00   | 睡眠     | 24:00 | 睡眠     |
| 25:00   |        | 25:00 |        |

## 9. 明豊ファシリティワークス株式会社

### (1) 在宅勤務の概要

|                                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|---------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 業種/主の業務内容                       | 建設サービス業/建設に関する発注者支援(コンストラクション・マネジメント)事業                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 従業員数                            | 218人                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 在宅勤務導入時期                        | 2001年4月                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 在宅勤務導入の目的                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・競争優位性を強化する手段として、全社員を対象としたテレワーク(主としてペーパーレスの徹底とモバイル勤務)を導入し、 <ul style="list-style-type: none"> <li>* 可視化による信頼関係構築</li> <li>* 生産性向上</li> <li>* 管理会計による先見性向上</li> </ul> </li> <li>を実現している。在宅勤務及び、在宅勤務以外のテレワークは、このような経緯の中で、導入したものである。</li> <li>・会社の基本的な考え方として、社員には永くこの会社で働いてほしいということがあり、そのために働きやすいこと、働きたいと思う気持ちを持ってもらうことに重点を置いている。</li> </ul>                                                                                                                                              |
| 在宅勤務制度の有無.<br>在宅勤務の対象部門/<br>対象者 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅勤務制度策定済み。</li> <li>・全部門、全職種。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 在宅勤務の対象人数/<br>実施人数              | 対象人数:218人/実施人数:終日在宅勤務は1人(部分在宅勤務は多数)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 在宅勤務制度の<br>内容・運用上の工夫            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・社員は勤務場所を問わない全社員テレワークの仕組みの中で普段から働いているので、在宅勤務固有の報告等はない。</li> <li>・同社の就業規則等に「家庭は安らぎの場所」という趣旨の記載をしており、社員が自宅で長時間仕事をすることは勧めていない。同時に、1時間程度なら本人の判断で自由に在宅勤務可能とし、例えば子供の看病等で在宅勤務を希望する場合には、口頭で上司の承認を得るだけで在宅勤務が可能になるという、フレキシブルなルールで運用している。</li> <li>・同社の業務のほとんどはプロジェクトチームで進めていく形をとっているため、社員の業績評価にプロジェクト関係者も参加している。</li> <li>・社員個人の工数管理システムが導入されており、プロジェクト毎の各人の負荷時間と行動内容がわかるデータが社員に公開されている。</li> <li>・在宅勤務とは異なるが、産前産後休暇中、育児休暇中の社員が安心できるよう、希望者に対して勤務中と同様に自宅から会社の情報にアクセスすることが出来る環境を提供している。</li> </ul> |
| 在宅勤務導入の効果                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・社員にとって同社は、効率的に働ける環境を提供する会社になることから、産前産後休暇、育児休暇後も復職することが多く、この環境によって社員の納得感に基づく社員との信頼関係も構築出来ている。</li> <li>・働きやすい環境を構築していること等により、優秀な人材が転職するケースは少なくなり、一方で中途採用がしやすくなっている。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |

## 9. 明豊ファシリティワークス株式会社

### (2) 在宅勤務実施者の声

|           |           |
|-----------|-----------|
| 性別・年齢     | 女性        |
| 家族状況      | 既婚        |
| 通勤時間・手段   | 45分(電車通勤) |
| 主な業務内容    | 広報業務      |
| 在宅勤務開始時期  | 2010年4月   |
| 在宅勤務実施の理由 | 家庭の都合     |
| 在宅勤務の実施頻度 | 週4回       |
| 労働時間制度    | 裁量労働制     |

|           |                                                                                                                                                                                                                                                        |
|-----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 在宅勤務実施者の声 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭の都合で、5年前から終日在宅勤務を実施している。オフィスへの出勤は原則火曜日のみとし、残りは在宅勤務を実施している。</li> <li>・仕事の内容は広報関連業務であるため、在宅勤務でも問題なく行うことができる。取材等で自宅から取材先に出かけ、そのまま自宅に戻ることも多い。</li> <li>・スケジュールはオンラインで管理されており、全員が閲覧可能なので、特に問題となることはない。</li> </ul> |
|-----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

※ここに掲載した事例は、在宅勤務の取組・工夫を紹介するためのものであり、各企業等の状況に応じた取組・工夫がなされることが望まれる。

在宅勤務日は早朝の時間にも仕事をすることができる。

在宅勤務日には、自己啓発に時間をとることができる。

| 【在宅勤務日】 |                      | 【出社日】 |             |
|---------|----------------------|-------|-------------|
| 5:00    | 睡眠                   | 5:00  | 睡眠          |
| 6:00    | 身の回り<br>自宅で業務        | 6:00  | 身の回り        |
| 7:00    | 身の回り<br>食事・休憩        | 7:00  | 食事・休憩       |
| 8:00    | 身の回り                 | 8:00  | 通勤          |
| 9:00    |                      | 9:00  |             |
| 10:00   | 自宅で業務                | 10:00 | 職場で業務       |
| 11:00   |                      | 11:00 |             |
| 12:00   | 食事・休憩                | 12:00 | 食事・休憩       |
| 13:00   | 移動(業務関係)             | 13:00 |             |
| 14:00   | 業務(自宅と職場以外)          | 14:00 |             |
| 15:00   | 移動(業務関係)             | 15:00 | 職場で業務       |
| 16:00   | 買い物<br>身の回り<br>自宅で業務 | 16:00 |             |
| 17:00   | 身の回り                 | 17:00 | 通勤          |
| 18:00   | 自己啓発                 | 18:00 | 買い物<br>身の回り |
| 19:00   |                      | 19:00 | 食事・休憩       |
| 20:00   | 趣味・娯楽                | 20:00 |             |
| 21:00   | 身の回り                 | 21:00 |             |
| 22:00   |                      | 22:00 | 身の回り        |
| 23:00   | 自宅で業務                | 23:00 |             |
| 24:00   |                      | 24:00 |             |
| 25:00   | 睡眠                   | 25:00 | 睡眠          |

# 10. 株式会社リクルートマネジメントソリューションズ

## (1) 在宅勤務の概要

|                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|-------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 業種/主の業務内容               | 専門サービス業/組織・人事課題に対して、人事・人材育成・組織開発施策を軸としたソリューション(制度設計、研修企画・実施など)提供                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 従業員数                    | 374人                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 在宅勤務導入時期                | 2013年10月/トライアルは2013年7月に開始                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 在宅勤務導入の目的               | 「プロとして成長し続けること、自立的なキャリアデザインを支援する」という人事制度主旨に則り、生産性を高めることを目的に導入。具体的には、単位時間あたりの生産性意識を高め、結果としてインプット(学習)時間の確保をすることで成長につなげることをねらいとした。                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 在宅勤務制度の有無・在宅勤務の対象部門/対象者 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅勤務制度策定済み。</li> <li>・全部門、全職種。自律的に業務を遂行できる等級以上の者(営業・コンサルタントの直行前直帰後の利用については、等級不問としている)。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 在宅勤務の対象人数/実施人数          | 対象人数:288人/実施人数41人(H27年4月～9月)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 在宅勤務制度の内容・運用上の工夫        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・週2日を上限、時間数の制限なし。 * 営業・コンサルタントの直行前直帰後の在宅勤務については制限なし</li> <li>・子育て事由の短時間勤務者については、制限なし</li> <li>・自律的に業務を遂行できる一定等級以上の者で、誓約書に同意が必要。</li> <li>・ * 営業・コンサルタントの直行前直帰後の在宅勤務は、等級制限なし</li> <li>・会社貸与のノートPC、もしくは条件をクリアし事前登録した自宅PCの利用が必須。</li> <li>・勤怠管理は、オフィス勤務時と同様に、実働時間をアクティビティごとにシステム登録(工数管理システム)。</li> <li>・在宅勤務で行なう予定の業務、所要時間について上司承認・報告を得ること。</li> </ul> |
| 在宅勤務導入の効果               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・テレワーク単体での生産性向上についての効果検証は難しいが、利用者アンケートでは、「業務の集中度があがった」、「業務に必要な所要時間を見積もるスキルが上がってきた」、「事前に計画立てて、業務を組み立てるようになり、関係者への連絡も先回りして行なっている」という回答。</li> <li>・テレワークのみの影響範囲とはいえないが、全社従業員満足度調査の結果(5段階指標)に変化が見られる(導入前の2013年と2015年を比較)。</li> <li>・ * 専門性開発に向けて、自己投資の時間(社外講演参加・読書等)を確保できている→0.04pt アップ</li> <li>・ * 会社はあなたの専門性を高めるための機会を用意している→0.32pt アップ</li> </ul>   |
| 今後に向けての課題               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・効果的に活用されるよう、テレワーク利用の浸透度を上げていくこと。一律に利用率向上を狙うものではないが、利用することでテレワークのメリットを知り、より効果的な業務設計が可能になると思われるため。</li> <li>・テレワークの常時利用による、短時間勤務の制限解除の可否についての検討。</li> <li>・介護にかかわる社員への支援策としてテレワークの活用可否の検討。</li> </ul>                                                                                                                                                |



# 10. 株式会社リクルートマネジメントソリューションズ

## (2) 在宅勤務実施者の声 その1

|           |                           |
|-----------|---------------------------|
| 性別・年齢     | 40歳代男性                    |
| 家族状況      | 既婚、大1/高1/小6の3人の子供         |
| 通勤時間・手段   | 50分(電車通勤)                 |
| 主な業務内容    | 研修にかかわる商品の開発などの業務         |
| 在宅勤務開始時期  | 2013年の在宅勤務トライアルから実施       |
| 在宅勤務実施の理由 | より効率的、効果的に業務ができる          |
| 在宅勤務の実施頻度 | 終日在宅勤務は月に1~2回、部分在宅勤務は多く実施 |
| 労働時間制度    | 裁量労働制                     |

|           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|-----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 在宅勤務実施者の声 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣の人達にも、在宅勤務をしていることが知られ、違和感なく受け入れられている。</li> <li>・自宅の執務環境は、大型ディスプレイ、広いデスクなどがあり、オフィス勤務時よりも効率よく仕事ができる。</li> <li>・スマートフォンでメール、ファイル閲覧ができるので、モバイル勤務時でも効率よく仕事ができる。</li> <li>・在宅勤務日を増やしたいが、ミーティング/打ち合わせなども多く、なかなか終日ではできない。そのため、半日在宅勤務をすることも多い。</li> <li>・在宅勤務はメリットが多いが、一方で、若手社員の人材育成が十分できない。業務の性質上OJTも重要で、そのためにはFace to Faceでちょっとした質問等のやりとりが重要になる。</li> </ul> |
|-----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

※ここに掲載した事例は、在宅勤務の取組・工夫を紹介するためのものであり、各企業等の状況に応じた取組・工夫がなされることが望まれる。

在宅勤務日は睡眠時間も多くとれ、かつ始業時間も早くなる。

在宅勤務日は家族と一緒に食事をとることができ、子供と過ごす時間も増える。

在宅勤務日には、PTAの会合に出席したり、地域活動の資料づくりをする時間がとれる。

オフィスで完了しなかった業務を自宅で継続して行うこともある。

| 【在宅勤務日】 |       | 【出社日】 |       |
|---------|-------|-------|-------|
| 5:00    |       | 5:00  | 睡眠    |
| 6:00    | 睡眠    | 6:00  |       |
| 7:00    |       | 7:00  | 身の回り  |
| 8:00    | 食事・休憩 | 8:00  | 食事・休憩 |
| 9:00    |       | 9:00  | 身の回り  |
| 10:00   | 自宅で業務 | 10:00 | 通勤    |
| 11:00   |       | 11:00 | 職場で業務 |
| 12:00   | 食事・休憩 | 12:00 |       |
| 13:00   |       | 13:00 | 食事・休憩 |
| 14:00   | 自宅で業務 | 14:00 |       |
| 15:00   |       | 15:00 | 職場で業務 |
| 16:00   |       | 16:00 |       |
| 17:00   |       | 17:00 |       |
| 18:00   |       | 18:00 | 通勤    |
| 19:00   | 食事・休憩 | 19:00 |       |
| 20:00   | 地域活動  | 20:00 | 食事・休憩 |
| 21:00   | 自己啓発  | 21:00 | 自宅で業務 |
| 22:00   |       | 22:00 |       |
| 23:00   | 趣味・娯楽 | 23:00 | 趣味・娯楽 |
| 24:00   |       | 24:00 |       |
| 25:00   | 睡眠    | 25:00 | 睡眠    |

# 10. 株式会社リクルートマネジメントソリューションズ

## (2) 在宅勤務実施者の声 その2

|           |                     |
|-----------|---------------------|
| 性別・年齢     | 30歳代女性              |
| 家族状況      | 独身                  |
| 通勤時間・手段   | 1時間15分(電車通勤)        |
| 主な業務内容    | 新商品企画・開発、研究などの業務    |
| 在宅勤務開始時期  | 2013年11月            |
| 在宅勤務実施の理由 | 集中して考える時間・環境を確保するため |
| 在宅勤務の実施頻度 | 週2回程度               |
| 労働時間制度    | 裁量労働制               |

### 在宅勤務実施者の声

- ・在宅勤務日には、会社で使用しているノートPCを自宅に持ち帰り、ダイニングテーブルで仕事をしている。なお、オフィスと同様、自宅にはモニターを用意して必要に応じて利用している。
- ・在宅勤務をする際は、基本的には終日。・「個人で考える・まとめる」仕事を在宅勤務日にあてているため、コミュニケーション等での大きな不都合は感じていない。
- ・仕事の特性上、周囲で行われている打ち合わせの声等が聞こえてこない静かな空間で、次の打ち合わせの時間を気にせずまとまった時間を確保できることは、仕事を進める上でプラスになっていると感じている。

※ここに掲載した事例は、在宅勤務の取組・工夫を紹介するためのものであり、各企業等の状況に応じた取組・工夫がなされることが望まれる。

在宅勤務日は起床時間が少し遅くても、オフィス勤務時と同じ時間に仕事を始めることができる。

出社日は昼食をコンビニ弁当で済ませてしまうことが多いが、在宅勤務日はきちんとして昼食をとることができる。

在宅勤務日は仕事の合間に洗濯等の家事を行うことができる。

| 【在宅勤務日】 |                       | 【出社日】 |                       |
|---------|-----------------------|-------|-----------------------|
| 5:00    | 睡眠                    | 5:00  | 睡眠                    |
| 6:00    | 睡眠                    | 6:00  | 睡眠                    |
| 7:00    | 身の回り                  | 7:00  | 身の回り<br>食事・休憩<br>身の回り |
| 8:00    | 食事・休憩<br>身の回り         | 8:00  | 通勤                    |
| 9:00    | 自宅業務                  | 9:00  | 職場で業務                 |
| 10:00   | 自宅業務                  | 10:00 | 食事・休憩                 |
| 11:00   | 自宅業務                  | 11:00 | 職場で業務                 |
| 12:00   | 身の回り<br>食事・休憩<br>身の回り | 12:00 | 職場で業務                 |
| 13:00   | 自宅業務                  | 13:00 | 食事・休憩                 |
| 14:00   | 食事・休憩<br>身の回り         | 14:00 | 職場で業務                 |
| 15:00   | 自宅業務                  | 15:00 | 職場で業務                 |
| 16:00   | 自宅業務                  | 16:00 | 職場で業務                 |
| 17:00   | 自宅業務                  | 17:00 | 職場で業務                 |
| 18:00   | 自宅業務                  | 18:00 | 職場で業務                 |
| 19:00   | 身の回り<br>食事・休憩<br>身の回り | 19:00 | 食事・休憩                 |
| 20:00   | 身の回り                  | 20:00 | 職場で業務                 |
| 21:00   | 趣味・娯楽                 | 21:00 | 通勤                    |
| 22:00   | 自己啓発                  | 22:00 | 身の回り<br>食事・休憩<br>身の回り |
| 23:00   | 身の回り                  | 23:00 | 自己啓発                  |
| 24:00   | 睡眠                    | 24:00 | 趣味・娯楽<br>身の回り         |
| 25:00   | 睡眠                    | 25:00 | 睡眠                    |

# 10. 株式会社リクルートマネジメントソリューションズ

## (2) 在宅勤務実施者の声 その3

|           |               |
|-----------|---------------|
| 性別・年齢     | 40歳代女性        |
| 家族状況      | 既婚、子供なし       |
| 通勤時間・手段   | 1時間30分(電車通勤)  |
| 主な業務内容    | 事務系業務         |
| 在宅勤務開始時期  | 2013年7月       |
| 在宅勤務実施の理由 | 業務の効率化・通院との両立 |
| 在宅勤務の実施頻度 | 週1回           |
| 労働時間制度    | 裁量労働制         |

|           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|-----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 在宅勤務実施者の声 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・仕事のおおよそ4割は自部署等の運營業務、6割が企画系の仕事であるので、在宅勤務日には企画系の仕事をまとめて行うようにしている。在宅勤務では、集中して仕事ができる。そのため、仕事の計画性がアップし、仕事の効率もアップしている。</li> <li>・半日在宅勤務を行うこともある。</li> <li>・自宅では、リビングで仕事をしている。</li> <li>・通勤の往復が無いことにより、身体的な負荷が軽減されるとともに、時間的な余裕も生まれるため、色々な意味でゆとりが出る。</li> </ul> |
|-----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

※ここに掲載した事例は、在宅勤務の取組・工夫を紹介するためのものであり、各企業等の状況に応じた取組・工夫がなされることが望まれる。

出社日は簡単な朝食ですませているが、在宅勤務日はきちんとした朝食がとれる。

ネットを利用した英会話の学習をしている。

夕食も時間をかけてゆっくりととることができる。

